

模型戦士  
**GUNPLA BUILDERS**  
BEGINNING  
ガンプラビルダーズ  
ビギニングG  
ビジュアルガイド  
**VISUAL GUIDE**

模型戦士  
ガンプラビルダーズ  
ビギニングG  
ビジュアルガイド



ストーリー&  
設定画を満載した  
ビジュアルガイドブック

**30** ガンプラ  
周年記念  
アニメーションの全貌

HOBBY  
JAPAN MOOK

模型戦士  
GUNPLA  
BUILDERS  
BEGINNING  
ビジュアルガイド  
VISUAL GUIDE

模型戦士  
ガンダムビルダーズ  
ビギニングG  
ビジュアルガイド





模型戦士

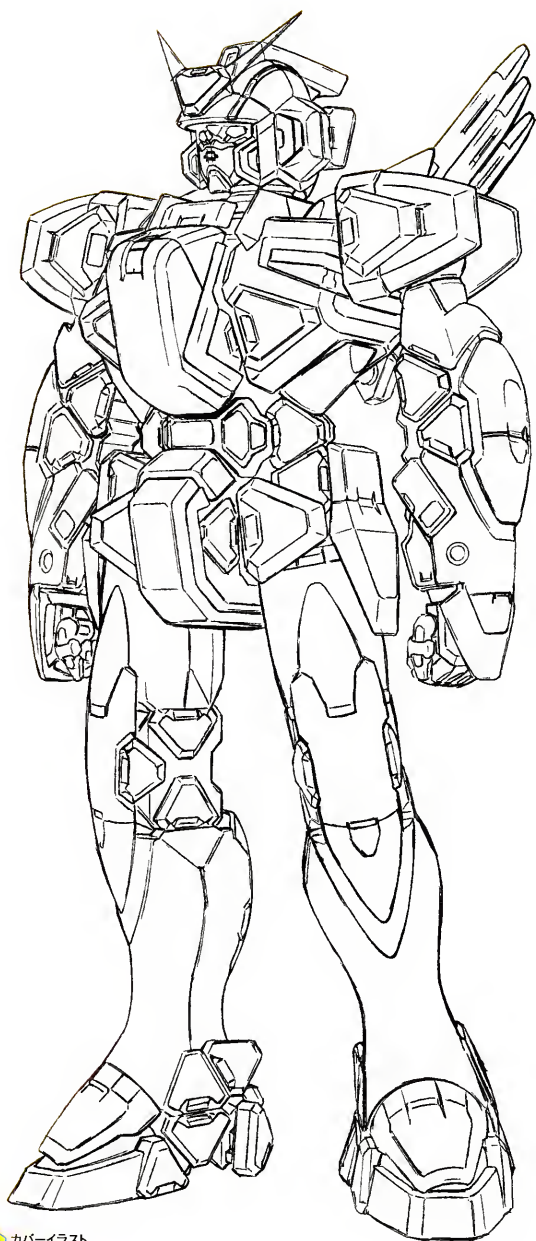
# GUNPLA BUILDERS

## BEGINNING

ガンプラビルダーズ ビギニング

# VISUAL GUIDE

作画(キャラ) ● 寺田雄一郎  
 作画(メカ) ● 黒田義明  
 仕上げ ● すずきたかこ  
 特效 ● 早坂啓俊  
 監製 ● イメージルーム シロー  
 初出 ● メインビジュアル



▶ カバーイラスト

作画●重田敦司

仕上げ●すずきたかこ

特効●甲斐政俊

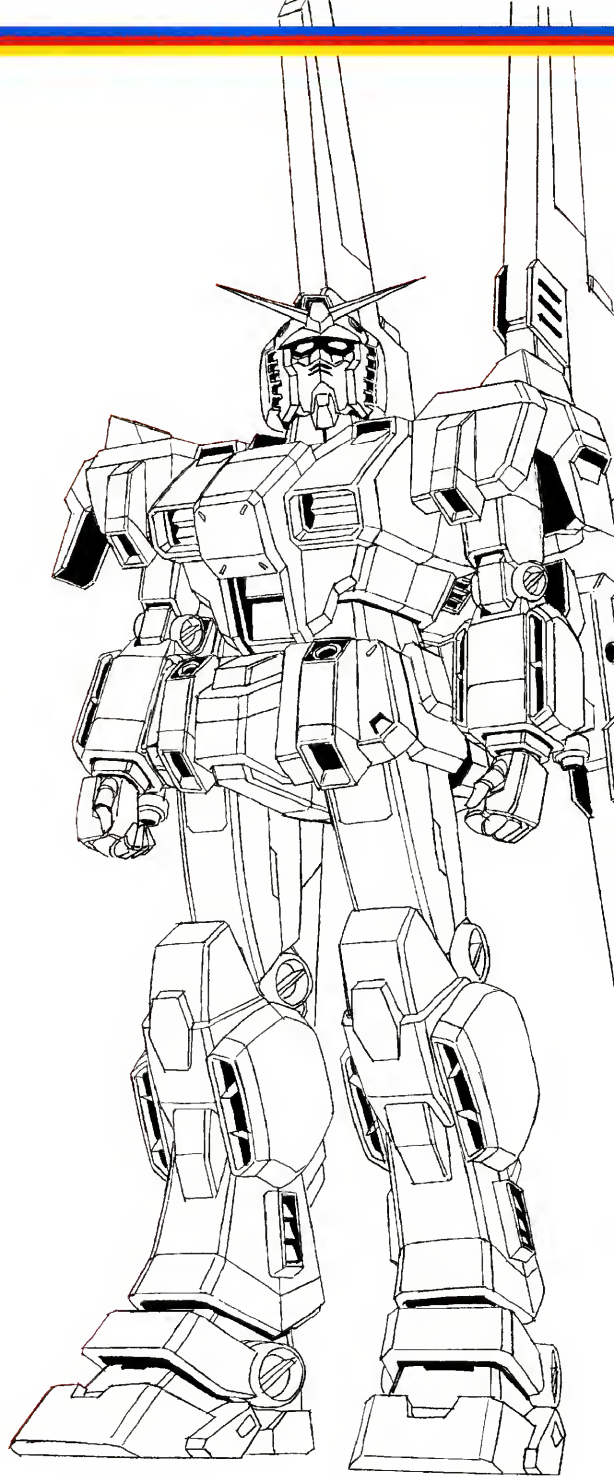


## INTRODUCTION

2009年、機動戦士ガンダムが30周年を迎えた  
アニバーサリー・イヤー。

イレイ・ハル少年は偶然からガンブラ、  
ビギニングガンダムを手に入れる。

ハルは初めて触れたガンブラを  
自分の手で組み立てるとともに、  
ガンブラバトルの世界へ踏み出した!!  
ガンブラ30周年を記念して製作された、  
模型を愛するすべての人に捧げるアニメーション。  
それが『模型戦士ガンブラビルダーズ』だ!!





模型戦士  
**GUNPLA BUILDERS**  
BEGINNING  
ビジュアルガイド  
**VISUAL GUIDE**





# **GUNPLA** **BUILDERS** BEGINNING 初心者からわかる ビギニングGプラビルダー **VISUAL GUIDE**

**Hobby**  
JAPAN

ホビー・ジャパンMOOK 36号  
 模型戦士カンパラビルダー  
 ビギニングGプラビルダー

定価 2000円 本体 1905円 +税  
 雑誌68144-69 Printed in Japan

ISBN978-4-7986-0160-1

C9476 ¥1905E



9784798601601



1929476019059





イラスト●藤永卓也  
仕上げ●久保木裕一  
智略●宇野浩俊  
音楽●イメージルーム ジロー  
初出●(月刊ホビージャパン)2010年8月号

模型戦士  
**GUNPLA BUILDERS**  
BEGINNING  
ガンプラビルダーズ  
ビギニングG  
**VISUAL GUIDE**

模型戦士  
ガンプラビルダーズ  
ビギニングG  
ビジュアルガイド



# ガンプラビルダーズの世界

機動戦士ガンプラビルダーズは通か未来の物語ではない。西暦2009年から2010年の地球、日本の静岡県が舞台となっている。それゆえ実に多彩な独自設定が製作されており、それが現実と作品世界を繋ぐ役割を果たしているのだ。さて本項では、かのようなガンプラビルダーズを彩るポイントを掘り下げてみたい。



▲Gポッドの外観。意外と大きい。円形の機體ユニットである。3対3のバトルの場合、このポッドが3機必要となるため、設置には広いスペースが要求されると言われる

## Gポッド



1対1のバトル「1対1」は機體ポッドとルーターたちはこの中に入り、持参したガンプラをスキャンさせてガンプラバトルに挑み、勝敗を決する。アーケードゲーム「機動戦士ガンダム 戦場の絆」の筐体に良く似ている

### コクピットシート

▼コクピットの内部、コクピットシート。両手前にはレバー・ブロックとガンプラスキャナー。奥部にはフットペダルが取り付けられている



▼レバー・ブロック。左右それぞれあり、スキャンしたガンプラを自在に操縦できる。イヤホン・ジャックはヘッドセットとマイクを繋ぐためのもの



▲ガンプラバトル中のモニター映像。「機動戦士ガンダム」をどで真似たにシニアシートのように、画面が90度回転するようにになっている

## ガンプラスキャナー

機動戦士ガンダム シリーズのマスコットロボット・ハロを模した形状を持つ。ガンプラをスキャンする時は、口を開いて中に入れる



▲ターガマのモビルスーツ・ガンダム（ガンダム）がマンのオブジェクトがらで登場され、機體の形状を抽出する。可動性の高さを活かしている

▶ガンダムは、ムに似ていて、専用メカとガンダム外装を運用、ヘルメットはイヤホン・ジャックが装備されている。頭部にマイクとイヤホンが取り付けられている



▶購入したガンプラをスキャンする時は、完成品をハロの口の中に入れて、ガンプラの性能を決定する。大規模モデルに限定してガンプラスキャナーでスキャンする



# GUPLA BUILDERS BEGINNING ビギニングG ビジュアルガイド VISUAL GUIDE

**Hobby**  
JAPAN

ホビージャパンMOOK 389  
模型戦士ガンプラビルダース  
ビギニングG ビジュアルガイド

定価 2,000円 本体 1,905円 +税

雑誌68144-69 Printed in Japan

ISBN978-4-7986-0160-1

C9476 ¥1905E



9784798601601



1929476019059



4 ガンプラバトルのルーム。ロボットがり台、設置されている。中心には試合を中継するモニターが置かれている



▲ホビーショップAXISの店内。意外と広く、ガンプラのギアやパーツを高く取り揃えている

## ▶ ホビーショップ AXIS

ガンプラファンが集う静岡県内の模型店。店内にはガンプラに造詣の深い店長が常駐しており、常連客をもてなしている。Gボンドが常設されているため、客同士でのガンプラバトルが開催されているようである。



▶ ガンプラバトルの様子。設置されたモニターで観戦可能。同時に状況を把握できる



## ▶ ガンプラバトル選手権

各模型店の代表者が出場し、戦線が行なわれるガンプラバトルの大会。どうやらバトルロイヤルの形式を取っているらしく、ひと試合4チームずつ仮想空間の中に入らせる形式となっている模様。紙製の舞台は毎回異なり、ある時は水上、またある時は雪原、そしてある時は宇宙空間などが採用されている。

▲高リス・シャッポーとマイスターズ・シャッポーは名だたるガンプラマイスターとして、子供たちにもその存在が知られている

## ▶ RG 1/1 GUNDAM PROJECT

模型の街 静岡で開催されている(※)、1/1スケールのRX-78-2ガンダムの展示会。1年前の2009年には東京・お台場で展示され、好評を博した。ハルのガンプラビルダーとしての人生は、2009年の展示会から始まっており、2010年において彼は大きく成長した姿を見せている。(※2010年12月現在)



## ▶ バンダイホビーセンター

▲バンダイホビーセンターの外観。静岡市駿河区に位置する

▶ バンダイホビーセンターの内部は、地味な装飾の割には、かなりキレイだ



◀「ヒナタ」の描かれている「鋼鉄の心」作中人物と実物のホビーガン



静岡県静岡市に設置されたガンプラの開発、製造を一手に担っている研究所。研究所内には様々なハイテク機器が備わっており、「イフスユニット」の試作品を製作した光造型マシンなどの先進的な設備も常備されている。「パーツA」ではガンプラバトルのフィールドとして、「パーツB」「パーツC」においては現実空間にその姿を見せている。

イントロダクション.....02  
ガンブラビルダーズの世界.....07

▶ **パートA.....07**  
**ガンブラビルダーズ名鑑01**

ビギニングガンダム.....08  
Hi-νガンダム.....11  
ザクI・スナイパータイプ.....13  
バウ.....14  
ドム/アッシマー.....15

**ガンブラバトルダイジェスト パーツA.....16**

▶ **パートB.....21**  
**ガンブラビルダーズ名鑑02**

フォーエバーガンダム.....22  
スーパーカスラムザクF2000.....24  
白式.....27

**ガンブラバトルダイジェスト パーツB.....28**

▶ **パートC.....33**  
**ガンブラビルダーズ名鑑03**

ビギニング30ガンダム.....34  
ベアッガイ.....37  
サザビー.....39  
ブルーディスティニー1号機/ケンプファー.....40  
ハイゴッグ/キャン/重戦型ガンキャノン.....41  
ガンダムアストレイレッドフレーム/ガンダムGP03デンドロビウム.....42  
ザクIIレロ/ザクIIレロ/ザクII.....43  
アイザック/ビグザム/ツダ.....44

**MSイベントコンテスト優秀作品**

ジ・O.....45  
ガンキャノン.....46  
ザクII.....47  
スゴウ.....48  
ゲルググ.....49

**ガンブラバトルダイジェスト パーツC.....50**

▶ **ガンブラビルダーズ登場ガンブラ名鑑.....53**

ビギニングガンダム.....56  
Hi-ν TO BUILD BEGINNING GUNDAM.....57  
Hi-νガンダム.....61  
スーパーカスラムザクF2000.....62  
ベアッガイ.....63  
フォーエバーガンダム.....64  
ビギニング30ガンダム/白式/サザビー.....65  
ザクI・スナイパータイプ/バウ/ドム/アッシマー/アッガイ.....66  
ハイゴッグ/ガンキャノン/ド・ザ・イ・S/重戦型ゲルググ/キャン/重戦型スゴウ.....67  
重戦型スゴウ/重戦型ガンキャノン/ガンダムアストレイ レッドフレーム/  
ジ・O/ガンダムGP03デンドロビウム/ガンダムGP03Sステイメン.....68  
ザクII/アイザック/ザクIIレロ/ビグザム/ツダ/ギラードガ.....69  
キューネ/ガス専用 ヤクトドーガ/ウェス・エア専用 ヤクトドーガ/リック・ディアス(ウフトロ・バジナカザ)  
マラス/ガブスレイ/ブルーディスティニー1号機.....70  
ケンプファー/ガンダムGP01Fb フルバーニオン/ガンダムGP02A サイザリス/  
ヨラア・スズ専用モビルアーマー/RG RX-78-2 ガンダム.....71  
メガサイズモデル RX-78-2 ガンダム.....72

▶ **スタッフインタビュー.....73**

監修機敏.....74  
藤田陽介.....75  
藤田俊男.....76  
海老川康成.....77  
松岡 徹.....78

**ガンブラビルダーズ グッズコレクション.....80**

▶ **ガンブラビルダーズ  
アニメーション制作参考設定.....81**

ビギニングガンダム.....82  
ビギニング30ガンダム.....83  
Hi-νガンダム.....85  
スーパーカスラムザクF2000.....87  
フォーエバーガンダム.....89  
ベアッガイ/ザクIIレロ.....91

ガンブラ30周年の碑.....92  
ガンブラから始まる物語.....94  
スタッフリスト.....95





PARTS

12

BEGINNING  
GUNDAM





# GUNDAM

ガンプラ  
ビルダーズ

名鑑

01



## SPEC

- ▶ 形式番号:RX-03ν
- ▶ ビルダー:イレイ・ハル
- ▶ 全高:19.0m 重量:47.8t (ガンプラバトル標準データ)
- ▶ 武装:ビームサーベル ビームライフル ビームバズルガン シールド

# GPB-X80 BEGINNING

## ▶ ビギニングガンダム



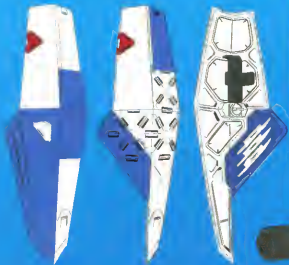
▲バンダイホビーセンターをバックに撮ったビギニングガンダムのパッケージ。裏面に貼られているガンダムと同じデザインとなっている

◀ REAR

イレイ・ハルが、2009年のお台場で偶然、かつて運命約に入手したガンブラ。他のルートでは流通しておらず、確認されているのもハルが持つ個体のみである。ガンブラ初版「たハルが製作したため、当初はあまりにやがて」のカラー、シルの貼り具合に想が自立つた状態、平凡な性格しか出せなかったが、後にハル自身がグレート処理や部分塗装、スミ入れなどディテールアップを行なった結果、性能の向上に成功している。

機体設定上ではビームのフィールド制御機構が同く、機体各部に設置された三角形のパーツは本機の主要ユニットであり、それぞれがフィールドのコントロールを行なっている。また、ハルはビームサーベル三本を持って敵をビルスーツを切り裂く戦法を得意とする。  
(デザイン：原案・重田敦司、メカデザイン：阿久津浩二)

▼ビギニングガンダムの専用シールド、2面構造になっており、裏・表の両方を切りこみ多数のジョイントが露出した状態になる。裏面にはビームサーベルが3本、収納されている



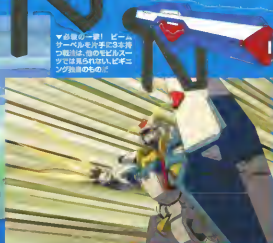
▲ビギニングガンダム専用ビーム・レーザー・ドカン、アンテナ状に展開されたビームを連射し、それをバルカン砲のように放出している

▼ビームライフル、ビギニングガンダムの主武器である。ガンプラ初心算のハルには命中させることは難しいようだが、命中すれば大きなダメージを与えることができる



▲ビームライフルのサイズは意外と小さく、ハンドガン程度の大ささである

▼必殺の一撃! ビームサーベルを片手に3本持つ戦法は、他のモビルスーツでは見られない。ビギニング独自のものだ



▲3本のビーム・サーベルを握りかざすビギニングガンダム。そのサーベルに通われた機体は簡単では済まない



## ガンプラバトルのビギニングガンダム

▲ガンプラバトルにおいて、ビギニングガンダムはザク・スナイパータイプ、バウ、トリガンダム、フォーエバーガンダム、スーパーカストムザクF2000と対決。フォーエバー以外には勝利しており、機体のボタンスターの真実を隠しさせる



## イレイ・ハル

▲ハルは初めてのガンプラ、ビギニングガンダムに一生懸命取り組む。一度のフォーエバーガンダムに簡単に敗れたものの、ビギニングへの愛着を無くしてはいけなかった。そこでビギニングガンダムをガンプラバトル最後の機体へと育て上げていく

ビギニングガンダムを偶然入手したため、ガンプラバトルの主人公となる。まだ初心者のため、ガンプラを製作するのは上手くいかないも、初戦でコシヤキモドのチームを倒したことで全員の尊敬を受けるという結果を上げている。だが、過去に出現したボリス・シヤウアーのフォーエバーガンダムに敗れてから、ビギニングのディヴァルアールに敗れていく



RX-93-v2 ▶ Hi-νガンダム GPB カラー

# HI-ν GUNDAM

## GPB COLOR



- ▶ 形式番号 RX-93-v2
- ▶ ビルダー コウジ・マツモト
- ▶ 全長 20.0m 本体重量 27.9t ガンブライトル版用デジパ
- ▶ 特殊装飾 フィン・ファンネル
- ▶ 武装 額部バルカン砲 腕部マシンガン ビーム・ライフル  
ビーム・サーベル ニューハイパーバスターガン シールド

▶ SPEC



▲ネーで身振りが取れないのは、Vのガンダムを参照するHi-νガンダム。だが、最終は意に決していた

小説「機動戦士ガンダム逆襲のシャア」ベルトーチカチルドレンに登場したモビルスーツを「コウジマツモトが自分専用のカラーリングに」を「コレションした機体。パーツAではキットを3個買っていてフィンファンネルを6基すべて稼働させるといったバリエーションがなされていたが、実際に作ったのはコウジのマナーシャで、コウジ自身はカラーリングの考案のみ行っていた。そのため、左足のホリキップが無くなるなど、不器用なマナーシャの組み立ての甘さが露呈する結果となった。

なお「パーツC」ではコウジ自身が組み立てたHi-νガンダムが登場。ハルのヒビーク30ガンダムに戦いを挑むも遂いで撃破されている。

(アニメーション設定 重田敦司)

▶ ロンド・ベル隊の部隊  
マーク、Hi-ガンダムは機  
体部分に描かれている

 REAR

▲ニュー・ハイパー・バズーカ。劇中ではビギニングガンダムめがけて全弾発射した



▲ビーム・サーベルを揃えるHi-νガンダム。目前の相手はビギニングガンダムだ

▲Hi-やガンダム最大の敵軍、ファン・ファンネル。本来のガンブラでは2機のみ完制体制に変形するが、コウジはアイドルならではの防力に物を言わせて6機ともを形可憐にした。



▲ガンブラ製作は上手くないのか、「自分、不器用ですから」と告白する一面も

コウジからは「ジャーマナ」と呼ばれる男。コウジのハーレガンダムを修理製作するが、バトル中に左足のボールキヤップが壊れるなど、不備が浮つた。



「フジのマネージャー」



人型ディルグルボ「S.G.O.S」  
ゴタウのリーダーにして、ガンフコ  
レクターを自衛する青年。常にマネ  
ジャーと通称。あけの少女たちを連れて行  
動している。華やかなゴタウに加え、ハ  
ルの最初のガムラバトルで仲間として  
H・R・ガンダムを助けたため、現在は  
カ、マネージャーが製作したものであ  
る。カ・リングは「ゴウジのアイデア」し  
かし、ハルの靴いを経て周のガムラ  
ビルダーに目覚めるのである。



コングレス・ミュージアム

ガンフラビルダー



**MS-05L ▶ ザクI・スナイパータイプ**

# ZAKU I SNIPER TYPE

アーケードゲーム『機動戦士ガンダム 戦場の絆』に登場。MS-05ザクIをカスタマイズした機体で、狙撃に特化している。青系のカラーリングで彩られていた。劇中では日本平からハルのピギニングガンダムを狙撃するものの、右足に直撃を食らってそのまま戦闘不能に陥った。



コウジ・マモトの通つかけをやっている少女の人。セミリングの髪型を  
ており、口元のホクロが特徴的な顔もそこそこ可愛い。自身もガンブラ  
ビトルであり、ガンブラビトルでは最初にハルに接触。二撃で行動不可に陥るな  
どと過な道場を卒業なくされた。(本編ではイワモトと呼ばれる)

# AMX-107 ▶ バウ BAWOO

機動戦士ガンダムZZ」に登場した、可変分離型モビルスーツ。上半身がバウ・アタッカー、下半身がバウ・ナッターにそれぞれ変形する。本編中では、ハルの僚機であるドムの左腕を破壊した後、バウ・ナッターの足を「カニバサミ」の要領でドム本体の動きを封じ、バウ・アタッカーの一撃で撃破する活躍を見せた。なお、機体カラーに「龍飛」の文字はない。

ガンダムビルダーズ  
名鑑  
01

▲ピンクのカラーリングが異彩を放つ、バウの上半身が変形した戦闘機。両翼のミサイルを腕部に持つ

▲ピンクが美しい、バウの下半身が変形した無人戦闘機。トリッキーな動きで敵のドムを襲撃した

▶エネルギーモーター化したビギングガンダムと対決。ビーム・サーベルで戦いながら、ボディの切り裂かれて途中で爆発した



◀ REAR

▼ビーム・ライフル、シールド、ビーム・サーベル。重戦的なモビルスーツの印象である



ガンダムビルダーズ

レジェンズ



イワモトと共にコウジの遠くかけをしてきた女性。本編ではオオイガワと呼ばれていた。ドムを撃破した時、「可哀想にしないから」と相手を非難していた。ハルと戦う時はモビルスーツに合体して戦い、敗北する。



NRX-044 ▶ アッシマー

## ASSHIMAR

初登場は「機動戦士ガンダム」ハルのチームの1機としてガンブラトルに属したが、ドム・ガンダムのフィンファンネルが湧り出す攻撃に屈した。オオイガツのバウとは対照的なのは、可変機としてのポテンシャルを発揮できなかった点だろうか。

REAR

▼アッシマーが変形した形態。片腕はのフィルムが特徴である。武器は機体下部にマウント可能なドム・ライフル

MS-09 ▶ ドム

## DOM

「機動戦士ガンダム」に登場したモビルスーツ。黒い三連星の乗機として有名である。部隊で組まれたハルのチーム機としてガンブラトルに属したものの、可変機のパウから一方的な攻撃を受けて壊滅となった。



▲この機体はジャイアント・バズで変形する。ジャイアント・バズに引き込まれたところにビームが撃ち込まれる



▲▼機中ではジャイアント・バズのみが使用された。ビーム・バズーカやビート剣も機体のみで使用された。



ガンブラトル

真の敵の方がドム。メガネがアッシマーのガンダムビルダー。本編ではオノ・ウツシバタと呼ばれている。いずれもGポッド内用の設定

▲フィン・ファンネルを避けつつ、モビルスーツ形態に変形したアッシマー。ビーム・ライフルで攻撃を開始するが、ドム・ガンダムの機動力の前に屈した



01

# 模倣型戦士 GUNPLA BUILDERS BEGINNING STORY DIGEST

ガンプラビルダーズ ビギニング



02

## 「ビギニングガンダム」

父と親友のケンタと共にお台場を訪れ、そこで見た異物大ガンダムに感動したハル。そして彼は誰も見たことのないガンプラ「ビギニングガンダム」と出会う。早速、初めてのガンプラに挑戦するハル。ケンタやガールフレンドのリナが見守る中、ついにビギニングガンダムは完成した。さらにハルはケンタの勧めで「ガンプラバトル」を体験し、アイドルであるコウジのHi-Vガンダムと対戦。これに勝利するが、そこに謎の男が乱入してきた!!



07

それは運命の出会いだった。



03



04



05



06



08

12



09

10

11



14



13



# 作品に魂を込める。 それがガンプラビルダーだ。

## EXPLANATION

**例** 物語はお台場・海軍公園の1/1実物大ガンダム立像から始まり、このことから本作の時代が2009年の夏であることが分かる。映像では立像に置かれた首の関節やモスト関節なども描かれた。この後、ケンタが紹介した「エコープラ」はガンプラ成形時の黄プラスチックを利用した限定品。ハルが女の子に買われたのは「HG RX-78-2ガンダム Ver.030th GREEN TOKYO GUNDAM PROJECT」で、立像公開場所に海軍公園で発売された限定品である。ハルが自室のパソコンで観たアニメは、ガンダム30周年記念PV「GUNDAM PERFECT MISSION」。「ドッキング後」に決めるポーズをとる初代ガンダムや、ターン・エーガンダムと初代コア・ファイターの対決など、オリジナルにはないシチュエーションが描かれた。ビギニングガンダムを組み立てるハル、ここまでリアルな模型製作のシーンを描いたアニメーションもかつてないのでは無いだろうか。

**例** ケンタの行そつきの機体店「ビルドショップAKB」。名前は「貴族騎士ガンダム」(以時の作品に登場した小島新平)と(及び本無双を思わせる「ガンダム」)の2つに由来。

**例** ココから登場するタイトルグループ「BSCC(スゴック)」。元ネタは水陸両用MSのズゴックと思われる。

**例** ガンプラバトルのシートやコンソールレイアウト、カードを参照するスタイルなどはアーケードゲーム「戦場の狼」を参照している。

**例** ガンプラをデータ化するガンプラスキャナーは「ガンダム」作品でお馴染みのハロを模しており、各ガンプラビルダーはまるで「ハロ」と同様のようになる。ハルチームはPOD-1:ハル(ビギニングガンダム)、POD-2:オノ(ドム)、POD-3:ウルシバタ(アッシュマー)、コウジチームはPOD-4:コウジ(Hi-ガンダム)、POD-5:イワモト(ザクI:スナイバータイプ)、POD-6:オオイガフ(イワ)。

**例** パーツAの残像カッパ(ハルはホワイトベースをイメージ)。内面にはメカマンの姿もあった。

**例** ザクI、スナイバータイプなどビギニングガンダムを攻撃! もともとは「ハルモニー・オブ・ガンダム」プロジェクトから生まれた機体であり、アニメーションに登場するのはこれが初となる。

15





パチリと言いつまでハメないから!!



**STORY DIGEST**  
「ビギニングガンダム」

# EXPLANATION

18 アニメーションでHi-νガンダムが活躍するのは本作が初めてである。首のガードにあたる部分にはロンドベル機のエンブレムが貼り付けられている。

19 「MOUC Hi-νガンダム」のキットは6部のフィン・ファンネルが付属するが、攻撃形態への変形機構を持つものは2部のみ。そこでコウジはキットを3つに分割し、すべてのファンネルを可動タイプに改造した。

20 ファンネルの収容室を受け、左腕が外れるビギニングガンダム。本作では色MGのダメージを実際のガンダム同様に表現している。コウジの「バチリと言うまでバチリ」という台詞は、悪魔形を使用しないスナックキットの常套句である。

21 22 今回のバトルでは変形空間を東側に設定しており、ビギニングガンダムはバンダイ市ビセンターに設置する。前を徘徊するのはホビーセンター名物の搬送ロボットで、シャア専用ザク風と重厚型ザク風の2タイプが稼働している。

23 ビギニングのビームサーベルに貫かれるバウ。3本のサーベルを同時に使うのは、ハル監督の戦法といわれている。

24 Hi-νガンダムの立つ構図は、機体は遠景沼沢がモデル。

25 Hi-νガンダムのビーム・サーベルの刃は、ピンクであったνガンダムとは異なりブルー。

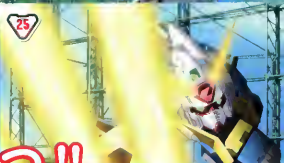
23



24



25



あいつ!!  
まだ動けたのか!!

26



27



28



29



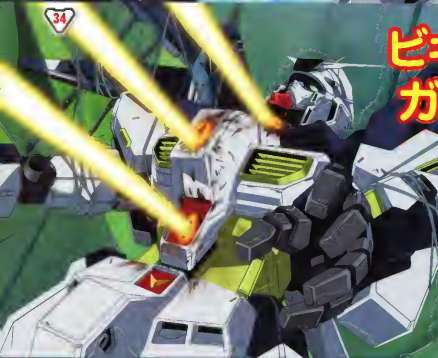


# STORY DIGEST

## 「ビギニングガンダム」



行くぞ!!  
ビギニング  
ガンダム!!



### EXPLANATION

- ヒューガンダムの機体に内蔵したポリキャップが弾薬庫としてコウジは数発する。ガンブラビルターならば一度は経験したことがあるミスでは? ちなみにバンダイホビーセンターの近くには実際にゴルフ練習場があり、ネットも実在している。
- 戦闘終了後もスキャナー内のビギニングガンダムは無敵であった。ガンブラビルターではスキャンした機体は傷つけない仕組みらしい。
- 突如として現れた謎の男(ス・シャア)。サンダラスやパイロットスーツを着用しないスタイルなど、まるでシャアを思わせるキャラクターである。



**PARTS 13**  
**FOREVER**  
**GUNDAM**

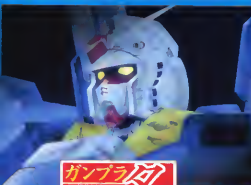


GPB-X78-30 ▶ フォーエバーガンダム

# FOREVER GUN DAM

## SPEC

- ▶ 型式番号 GPB-X78-30
- ▶ ビルダー ポリス・シャウアー
- ▶ 原典高 18m 本体重量 56.2t(ガンプラ/バル保護データ)
- ▶ 武装 ビーム・サーベル ビーム・ライフル ガンダム・ハンマー ファンネル 腰部バルカン



ガンプラ  
ビルダーズ  
02  
名鑑

▲ 素組にはシールを一切使用せず、リアル感を出すために汚し塗装も施されている



REAR ▶



ポリス・シャウアーが駆るオリジナル機「16ガンダム Ver.16」に基中  
や説教を追加しておりそのスタイリングはMSVの有名機フルアーマーガンダ  
ムを思わせる。シャウアーのガンプラ好きを表現するように丁寧に作り込まれ、キッ  
トとしての完成度はバトル時のスペックとしてメカを反映されている。ビギニングガ  
ンダム最大のライバルとしてハルの前に立ち上がったパイロットに登場（メカ  
ニクデザイン：大河原邦夫）



GPB-06F ▶ スーパーカスタムザクF2000

# SUPER CUSTOM ZAKU F2000

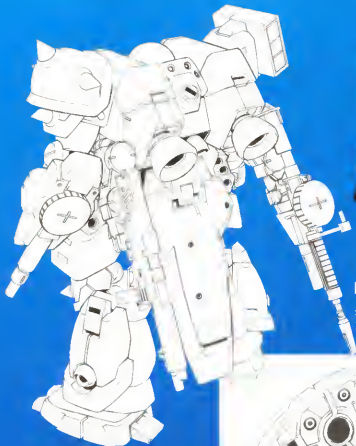


タツシマへ脱任したため改造機「機動戦士ガンダム0083 STARDUST MEMORY」のHGUCザクF2000に1/2の割合で装甲と武装を追加している。機動性の低下と改造部の接合部の脆さが気になった、ガンダムバトル選手権ではプラ板による軽量化が図られた。なおF2000はF2の1000倍強いという意味でビルダーは本機に世界中の武術や藝術をインプットした機体で、あまりにも強すぎたためテストの高さからアシシに封印されていたという設定を考えている。パーツはCに登場。メカラックデザイン：満老川義武

## ▶ SPEC

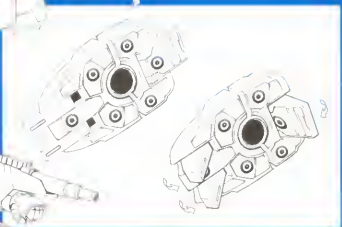
- ▶ 機体番号 GPB-06F
- ▶ ビルダー タツ・シマ
- ▶ 頭身長 全高 17.8m 重量 200.0t  
(ガンダムバトル設定データ)

▶ 武装 デッドエンドG(ジャイアント)ヒートホーク ボルトック  
マシンガンZ スーパーカスタムミサイルポッド スーパーカスタムMMP-78 120mmザク・マシンガン スーパーカスタムMMP-80 90mmマシンガン



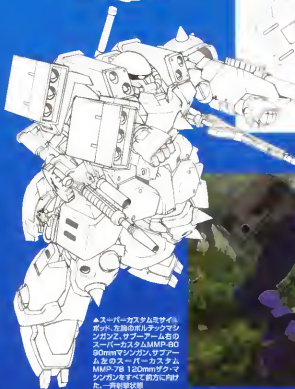
# REAR

◀ 肩鎖と装甲の追加による機動性の低下を補うため、肩鎖には大出力のバックパックを装備。腰には2つのマシンガンを実行したサブアームを備える



▲ ザクF2よりも大型化した足鎖、ツメも新造されている。爪先とかかとは独立して動くようになっている

▼ 白式の機銃対射により改造部が剥がれ、ベース機であるザクF2が露出してしまふ



▲ スーパーカスタムミサイルポッド、左胸のポルチックマシンガンZ、サブアーム右のスーパーカスタムMMF-90 90mmマシンガン、サブアーム左のスーパーカスタムMMF-78 120mmザク・マシンガンすべて前方に向けた、一斉射撃状態



▼ボルテックマシンガンZ。左手の自由度を高めるために、MMP-7Bザク マシンガンを  
固定化した状態。MMP-7Bと共通のドラムマガジンを使用する

ムスーパーカスミとデビルボンド ザクの機  
体は両方である3機用ミサイルポッドを両腕に装  
した状態。両腕、左右の腕、右腕に装備し、両腕を  
使い込むために使用される。また一斉発射時に  
は凄まじい威力を誇る

▼本機のメイン武装であり、普段は背面にマウ  
ントされている

イデットエンブレムに「ホーク」の文字。ザクの標準装備であるヒートホープを大規  
模化し、中距離からの攻撃も可能としたオリジナル武装

▼冷却化したブレードにより敵機の機体を凍結。パーツBで白色。パーツCで  
スティメンを再現した

## ガンニビルダー タツ・シマン

通称「タツ」の「ホビーショップ  
AXIS」の店長も実力を誇る  
ガンニビルダーで、ガンラの  
面談を受けるためにハルたちと  
対面を行う。この日は物陰から  
悪意の好青年だが、ガンニビル  
に参加するたが、最終的なキー  
に、ハルたちの仲間である「シマン」  
と名乗り、ハルたちにアドバイス  
を送る



▲コクピットを降りれば好青年に、自分の乗機  
を認め、ハルたちにアドバイスを送る



▲初登場シーン、この時はまだややかな  
好青年である

MSN-00100 ▶ 百式(GPBカラー「白式」)

# HAKUSHIKI GPB COLOR BYAKUSHIKI

ケンタ製作のガンブラ。ベース機は「機動戦士Ζガンダム」の百式で、「HGUC 百式+メガバズーカランチャー」のキットを白に塗装。さらに両腕には「百」ならぬ「白」のマーキングを描いている。パーツBでビギニングガンダムと共にスーパーカスタムザクF2000と対戦した。武器はビーム・サーベル、ビーム・ライフル、クレイ・バズーカで、キット付属のメガ・バズーカ・ランチャーは劇中では使用しなかった。

ガンブラ  
ビルダーズ  
名鑑  
02

REAR ▶



▲コロニー内に落ちた「百式」が、ビーム・サーベルで「ノ」を撃つシチュエーションに



▲両腕を失った「百式」が、ビーム・サーベルで復讐を行ない、ビギニングガンダムに勝利をもたらしした

ガンブラビルダー

サカザキ・ケンタ



▼機体はリナのツッコミ担当だが、ガンブラ製作技術やバトルでの戦術力はかなり高い



ハルの機体「ビギニングガンダム」の制作に際しては、ハルにガンブラ製作のノウハウを教えるという、また彼にガンブラバトルを助けた人物でもあり、バトルでは不屈の精神でハルたちをサポート、やがて彼らと共にガンブラビルダーとして成長してゆくシリア・アールが好んで、白く塗装した百式やサバニーを使用した。



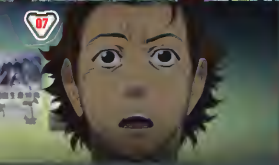


# 横型戦士 **GUNPLA BUILDERS** BEGINNING ガンプラビルダーズ ビギニング **STORY DIGEST**

## パーツ 「フォーエバーガンダム」



シャウアーのフォーエバーガンダムに完敗するビギニングガンダム。この戦いでシャウアーのガンプラに向けた愛を思い知ったハルは、自らもビギニングガンダムのディテールアップを始めるのだった。やがて新生したビギニングガンダムを伴い、ハルはケンタと共にAXISの常連と2対1の差別マッチで対戦。この戦いを通じてハルはガンプラの奥深さを知る。一方、ハルの父はビギニングガンダムのパワーアップパーツを完成させていた。



荒削りなガンプラ。  
 ビギニングが泣いているぞ!!





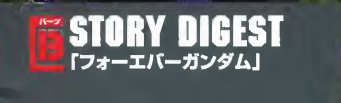


君はその  
ガンプラを持つに  
値しない男だ!!



## EXPLANATION

- 08 09 10 デートカットの首に、シールの裏を剥がされたハム。どちらもガンプラ初心者達の首ならばが  
ないにせよ、これら3つのミスも「月刊ホビージャパン」読者なら経験あるのではなかろうか?  
11 「ガンプラビルダー」を巻いた「ガンプラビルダー」の特号を持つ男「ボリス・シグナー」は、店長の台詞から  
察するにかなりの有名人らしい。彼の事務所はやはりガンプラコンテストで売れたものだろうか?  
12 フォーエバーガンダムは通常の武装を脱いで超絶技でなく、怪力にも秀でている。これは売に  
なったガンプラの可動範囲をシグナーが独自に改造したためではないだろうか。  
13 両者の戦いを見つめる店員。彼員に受けるまで確信店らしさが演出されている。  
14 登場するフォーエバーガンダム、機体とシールドの形状から、ベース機は「HGガンダム  
Ver. G30th」であることが分かる。  
15 「HGUCアッガイ」と「HGUC 西式+メガ」(ズール・ランチャー)を倒ってきた二人。ハムに影響され  
てガンプラを始めるとは、元ネタである「ガンダム」に關しては全く知らず、自分が買ったMSの名  
前すら覚えていなかった。  
16 17 ケンタのアドバイスを受けて、ガンダムマーカーを使った塗装と組み立てを行なうハム。初心者向  
けのガイドブック的なシーンである。  
18 新出したビギニングガンダムとケンタ製作による「白式」。ケンタは全機塗装のためメッキ処理され  
ていないメガ「ズール・ランチャー」付きの型式を選んだようだ。



オレだけのガンプラ  
スーパーカスタム  
ザクF2000だ!!



## EXPLANATION

**25** ステージはコロニー。カタバノは吉武に合わせてカーガマタイプが選ばれた。コロニーへ進入する際の序章は、ファーストガンダム第1話の準拠させる。コロニーの構造にはプラモデルのランナーも用いられている。

**26** 「ガンダム」作風ではお馴染みの、機体同士が接触して火花を散らす「お前の触れ合い演出」。

**27** たつぷんの本性(?)と共に姿を見せるザクF2000。前回はファンネルを操縦したお手前改造機、今回はジャンクパーツを使用したスクラップ機と、本作では主人公のスキルアップに合わせて機体が用意されている。

**28** ハルが操縦したディールアップにより、前編以上の機動性を発揮するビギニングガンダム。これこそがガンバ/バトルの仕込みであり、フォーエバーガンダムの機体の秘密でもある。

**29** **30** **31** テッド・エンドG・ヒート・ワークによって両脚を切断される白式。機体である「ガンダム」とは違い、さすがに両脚までは落とされなかったようだ。

シャウアーのサンダースに映るF2000のバロメーターは素材質性、撮影可動性、関節保持力、工作精度、塗装処理精度、塗装/印字精度の6項目。そして本機は素材質性と関節保持力が著しく良かった。

**31** 高橋敏平が付けて本体が提出したF2000、どうやらHGUCザクF2000ジオン仕様機」の改造機だったようだ。



俺様の……  
俺様の  
ザクが!!

やっぱりガンブラは……奥が深い!!



34



35

33



38

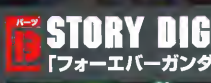


36

39



37



40



41

## STORY DIGEST

「フォーエバーガンダム」

## EXPLANATION

- 34 コクピットを真から取れるザクF2000。『機動戦士ガンダム』第1巻を彷彿させる機體である。
- 35 自らの敗北を認め、注進不足を真に受け止めるたつぽん。冒険の道はかなり好青年のようだ。
- 36 リナのプロトバグガイに機體する一瞬。『川で魚を獲るイメージ』に対し、『ガンダム』にそんなシーン(おとし)とケンタは冷静に突っ込む。
- 37 なんとハルの父はホビーセンターの職員で、シャウアーとも面識があった。そして最終回直前のサプライズはさらに続く。それは……。
- 38 パワーアップパーツを実験したビギニングガンダムのシルエット。ガンダムアニメ歴の主人公公敵の登場を手際させるラストシーンである。



**PARTS**



**BEGINNING**

**30**

# 30 GUNDAM



## SPEC

- ▶ 形式番号: GPB-A80-30F
- ▶ ビルダー: イレイ・ハル
- ▶ 全高: 18.0m 重量: 57.1t (ガンプラバトル用推定データ)
- ▶ 武装: ビーム・サーベル、ビーム・ライフル、ビーム・バルカン、シールド、ビームシールド



# GPB-X80-30F BEGINNING

## ▶ ビギニング30ガンダム



▲ビギニング30ガンダムのパワー源、イフスユニット。機体からあびたらしい面のフィールドを放出し、攻撃・防御の両方に応用する究極のユニットである。外装には「BEGINNING 30.its UNIT」の文字が確認できる

バンダイホビーセンターで新たに開発されたビギニングガンダム専用強化パーツ「イフスユニット」を入手したハルが、ビギニングガンダムに実装したのが、このビギニング30ガンダムである。イフスユニットとは、機体をフィールドで包み込み、ある時は真のようにエネルギーを放出し、またある時は膨大なフィールドを巨大なサーベルのように発生させ、そしてライフル弾のように射出できる強大なパワーを実現し、ビギニングガンダムを最強クラスのモビルスーツにするパーツだ。

製作に際してハルはイフスユニットを筆で塗装し、丁寧に仕上げていたために剥離がまれ、ガンブラバトル選手権には途中参加という形で出場。ツダやHi-ガンダムなど多数の機体を撃退した後、フォーエバーガンダムと一戦打ちを演じた。(メカニックデザイン・重田敦司)



◀ REAR

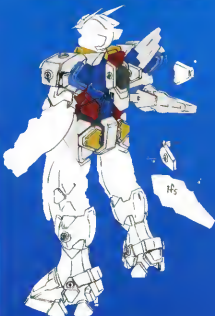


ガンブラバトル  
イレイ・ハル

▲ガンブラバトル選手権の戦場で、越えるべきライバル・シャウアーの姿を見え、緊張が走る!



機体のディテールアップや筆塗装など、着実にガンブラ製作のスキルを上げていったハルは、後者ガンブラビルダーとして大きく成長を遂げ、一度は敗北した相手、ボリス・シャウアーとも互角に渡り合うほどの腕前を見せた。そんなハルも、ガンブラビルダーの頂点・ガンブラマイスターへと登りつめるのであった。



▲ビギニング30ガンダム本体から、イフスユニットを取り外した状態。肩・背中・膝・腰面にイフスユニットが確認されているのがわかるだろう。他、ビームライフルにもイフスユニットが装備されている

機体を自ら動力フィールドで、ア・バオ・クーの花雷を帯びたビギニング30ガンダム。機体の拡大で物陰の場面でも出る



▲機体のビームサーベルをファンネルのように射出し、円陣のようにビームを振り回す。子甲アーマーの操作でリック・ディアス、各式、ガブスレイを立て続けに撃破した



▲ビギニングガンダムの機体である、「ビームサーベル三本持ち」を使ってフォーエバーガンダムに斬りかかるビギニング30ガンダム。サーベルは機体中から抜いている



▲抽出したフィールドのリングで、クンタのサザビーとリナのペーカイをトビガンダムファンネル攻撃から防御するといふ戦い場もやっていた

▲フォーエバーガンダムのファンネル攻撃をフィールドでシールドにしてやり過ごす。強力な攻撃ですら無効化するものが、イブユニットの強力たる所以だろう



▲陣中の別機を形成していたフィールドを収束させ、巨大サーベルを振り上げる。そのパワーは多数のモビルスーツを一撃で切りきるほどだ



店長

キビーショップ（KIBI）の店長。店内には多数のガンダムが販売されており、その品揃えは相当なものと考えられる。店内にはガンブラバドル用のマシンが設置されており、多くの若者を惹きつけていると知られる。ハルたちの住む場所であり、若い彼らの成長を温かく見守っている。



ハルの母親。ハルがフォーエバーガンダムにボロボロになった時、落ち込んでいたかどうかを気にするなど、母親らしい一面を持つ。ガンブラに拘束する息子には寛大な態度を窮めているが、その情熱を船旅にも向けて破し、いと可憐にしている。

イレイ・ウララ



ハルの父親。お台場のガンダム展示イベントにハルとクンタを連れて行った時、物販コーナーでハルにビギニングガンダムの組み立てを教えた人物である。また、パンダイビーセンターに勤務しており、シャッファードと面識がある。イブユニットを作ったのも彼だと思われる。

イレイ・ヒノデ

ハルを見守る人々

# CPB-04B ▶ ベアッガイ BEARGUY

## ▶ SPEC

- ▶ 型式番号 CPB-04B
- ▶ ビルダー：ノヤマ・リナ
- ▶ 機体高 20.0m 本体重量：100.0t(ガンブラ/バトル収録データ)
- ▶ 武装 メガ粒子砲(両目)、メガ粒子砲(胸部)、8基ミサイルランチャー、ランドセルユニット、ヒーム砲臺、頭部は両銃としても使用できる

ノヤマ・リナが、ケンタたちに手伝ってもらってアッガイを改造したオリジナルのガンブラ。主に頭部とランドセルの形状がアッガイと異なる。見た目の可愛さからは想像も付かないが、目にはメガ粒子砲を内蔵し、ビーム縦笛からは吹き矢のようにビームを放射し、あべくランドセルにはミサイルが搭載してあるという、物騒この上ない凶暴な機体である。

肝心のリナがベースキットのアッガイを水陸両用だと知らずにいたため、ガンブラ/バトル選手権の舞台となったア・バオア・クー宙域では意図たように身動きがとれず、まるで泳いでるが如き格好で動き回っていた。

なお、ベアッガイには改造前の姿として、リナ独自のデコレーションで飾ったプロトタイプが存在している。(デザイン・阿久津海一)



▲「バージョンB」に登場したプロトベアッガイは、胸部に布製のフードを被り、左手には銃を持った状態だった。北海道の土産物の熊をイメージしていたらしい

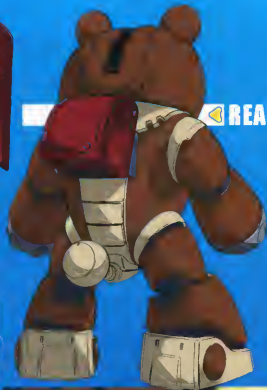




▲4 ベアッガイの武器、ビーム砲筒。小学生が持つ「砲筒」そのまゝの形状である



▲4 ベアッガイのランダムユニット「電子用ランダムセル」の外観からは想像もつかない、ミサイルの筒が搭載されている



BEAR



▲ランドセルからダイアンのタンプファーのひびてミサイル発射! すべてかわされてしまったのが嬉しい!



▲目からメガ粒子砲を発射。直撃でなくても、タンプファーの外殻をドローに溶かすほどの威力である



▲本来は水陸両用でビルスーンのアッガイをベースにした獣しかし、宇宙空間では動きがおぼつかない獣子だ



▲ビーム砲筒を口にくわえ、ビームを吹き矢のように射出する。この一撃でタンプファーのバズーカを破壊した



▲スクリーン中のベアッガイ、ビーム砲筒「ランダムセル」に付いているさまは、さながら通学中の小学生?

# MSN-04 サザビー GPBカラー

# SAZABI



▲ビグザムのメガ粒子砲からベアッガイを撃ち、宇宙戦艦モビルスーツの面を破壊



▲機中、破壊した6面のファンネルをすべて射出。コウジのハイガンダムとファンネル色を露出



ガンブラビルダー  
サカザキ・ケンタ

ガンブラビルに参戦する際、ケンタのパイロットスーツ姿、VSスーパーカースタムザクF2000戦や、ガンブラビル選手権では、簡単な変更を見た。



サザビーの特殊武器、ファンネル、V6コウジ戦の機、サム戦でも使用したが変更されている



ガンブラビルダー  
ノヤマ・リナ

リナのパイロットスーツ姿、ベアッガイに合わせて、肩の耳がヘルメットに増設されている

ハルとケンタのガールフレンド、ショートカットが似合う、気あふれる少女、ハルたちと密着して、自らもガンダムを製作するようになる。その間に自分たちが製作するガンブラビルダーの名称、機体デザインには、実際に製作した、そのためファンネルは、強制的な変更が付けられていた。

ハルに決定的な影響を与えた、その対して、自らも決定的な影響を受けるもの、その影響は、リナ、私の心、そしてハルに、影響した。リナ、私の心、そしてハルに、影響した。リナ、私の心、そしてハルに、影響した。

▲ハルは、このイラストでも、髪型、ネクタイが変更されている

▲ハルは、このイラストでも、髪型、ネクタイが変更されている

▲ハルは、このイラストでも、髪型、ネクタイが変更されている

▲ハルは、このイラストでも、髪型、ネクタイが変更されている

▲ハルは、このイラストでも、髪型、ネクタイが変更されている

▲ハルは、このイラストでも、髪型、ネクタイが変更されている

▲ハルは、このイラストでも、髪型、ネクタイが変更されている

▲ハルは、このイラストでも、髪型、ネクタイが変更されている

▲ハルは、このイラストでも、髪型、ネクタイが変更されている

▲ハルは、このイラストでも、髪型、ネクタイが変更されている

# RX-79 BD-1 ▶ ブルーディスティニー 1号機

# BLUE DISTINY UNIT 1

ゲームソフト「機動戦士ガンダム外伝THE BLUE DESTINY」(以下BD)に登場した、EXAMシステム搭載モビルスーツ。劇中ではシャウアーの部下の一人、サムが搭乗し、ケンタのサザビーと激戦を繰り広げた。なお、サムのBD1号機はバックパックを宇宙用の2号機の物に換装しており、宇宙戦に対応している。



4本足のBD1は、宇宙戦に対応している。宇宙用の2号機の物に換装しており、宇宙戦に対応している。

4本足のBD1は、宇宙戦に対応している。宇宙用の2号機の物に換装しており、宇宙戦に対応している。



サム  
ガンダムビルダー

ポリス・シャウアーに仕えるガンダムマイスターの一人、宇宙用に改造したBD1号機を駆り、ケンタのサザビーと戦い、ファンネルをサーベルで落とすほどの戦術を見せた。



# MS-18E ▶ ケンプファー

# KÄMPFER

DVA「機動戦士ガンダム0080 ポケットの中の戦争」に登場する、試作型強襲用モビルスーツ。シャウアーの部下であるダイアンが乗っている。多数の火器を携行し、リナのベアッガイと交戦状態に突入した。なお、シャウアーの部隊のモビルスーツは3機とも、青系のカラーリングとなっている。



ダイアン  
ガンダムビルダー

シャウアーの部下のひとり。自らもガンダムマイスターである。ケンプファーに搭乗し、リナのベアッガイと戦った。戦外にも恋心を抱かれていた。

▼リナのベアッガイめかけてシュラムアファストを撃ち、しかし、宇宙戦用(7)しては、宇宙戦に対応している。



REAR



MSM-03C ▶ ハイゴッグ

# HY-GOGG

OVA『機動戦士ガンダム0080 ポケットの中の戦争』に登場。過去のガンブラバトル選手権の記録映像に映っていた機体のひとつで、潜水艦マッドアングラーから出撃した後、水中から飛び出しドティYSに乗った上空のガンキャンンと交戦、撃墜されてしまった。



▲水中から姿を現し、ガンキャンンを何回も撃ったものの、最終的にはガンキャンンの真金となり、海の底へと消えていった。



RX-77D ▶ 量産型ガンキャンン

# MASS PRODUCT GUNCANNON

OVA『機動戦士ガンダム0080 ポケットの中の戦争』に登場した、地球連邦軍の量産型モビルスーツ。やはり過去のガンブラバトル選手権の記録映像にその姿を留めている。ザクが放ったクラッカーの爆撃を受けて爆散の憂き目に遭った。

REAR



YMS-15 ▶ ギャン

# GYAN

『機動戦士ガンダム』に登場した、マクベ専用モビルスーツ。過去のガンブラバトル選手権の記録映像に映っていたモビルスーツで、ズゴックに戦いを挑んだものの、シールドに装備された小型ミサイルで敵機の右腕を破壊したのみで、コクピットを貫かれて退場となった。

REAR



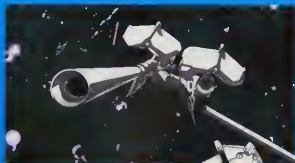
MBF-P02 ▶ ガンダムアストレイ レッドフレーム

# GUNDAM ASTRAY RED FRAME

メディアミックス作品『機動戦士ガンダムSEED ASTRAY』シリーズに登場する、ロウ・ギール専用機。巨大な日本刀・ガーベラ・ストリートを持ちえる。ガンブラバトル選手権では、そのガーベラ・ストリートを手にし、0へと戦いを挑むが、身動きを取れなくされ陣し崩のビーム・ソードで斬り倒された。



4 旧作のガーベラ・ストリートを持ちえる、巨匠機、0へと戦いを挑む。立ち向かうガンブラバトル選手権に、その機



▲本体のガンダムGP03S スタイメンに比して、巨匠を誇るアームドベース、オーキス。ミザイルで敵を振り、メガビーム砲で敵を焼き尽くした

▼アームドベース・オーキスの増設からビーム・ライフルを回収し、スーパーカスタムザクF2000の如く、超ったようである



▲アームドベース・オーキス。デンドロビウムの如くを形作る大規模ユニットである。左右のエンターには、手製の武器、弾薬を収納している



RX-78GP03 ▶ ガンダム試作3号機デンドロビウム

# GUNDAM GP03 DENDROBIUM

OVA『機動戦士ガンダム0083 STARDUST MEMORY』に登場。アームドベース・オーキスと、ガンダムGP03Sスタイメンが合体した巨大モビルアーマーである。ガンブラバトル選手権において、ザクⅢとアイザックを撃墜した後、飛来してきたザク・レロと交戦状態に陥り、それを撃墜した後、スーパーカスタムザクF2000の前に屈した。



▲ガンダムGP03S スタイメン、デンドロビウムの中部に位置するモビルスーツ。前に内蔵されたフルードエンジン、アームで、あらゆる兵器をオーキスなどから取り出すことができる

ガンブラ  
ビルダース  
03 鑑



▶ ザク・レロ

# ZAKU-RELO

ガンブラバトル選手権に登場した、オリジナルのモビルアーマー。モビルアーマー・ザクレロの口の中にモビルスーツのザクを収める風に収納している。1フィールドも搭載している模様。本機はデンドロビウムと戦闘し、ガンダムGP03Sステイメンと共に「中の人対決」を演じた。

(メカニックデザイン・重田敦司)



▲ガンダムGP03Sステイメンと敵機を纏り広げるザク。ヒートホークで斬りあうが、はからずもザクは宇宙の星と化した



4 ガンダムステイメンに纏られるザク。この時、そのザクが宇宙を飛び下ろすなど、通称「ザク降参」のシーンが展開する

AMX-011 ▶ ザクⅢ

# ZAKUⅢ

「機動戦士ガンダムZZ」に登場する、ネオジオン軍の量産型モビルスーツ。ラカン・ダカラン大尉の乗機として有名である。ガンブラバトル選手権では、デンドロビウムからの一方的な攻撃を浴び、メガ・ビーム砲で機体を溶かされてしまう。



REAR ▶

REAR ▶

MA-04X ▶ ザクレロ

# ZAKRELO

機動戦士ガンダムに登場した、宇宙戦用試作型モビルアーマー。本来は失敗作として放棄された状態だったものを、パイロットの独断で出撃、撃墜されたという経緯を持つ。ザク・レロのベース機体でもあり、本来は拡散ビーム砲が入っていた。



RMS-119 ▶ アイザック

# EWAC-ZACK

「機動戦士ガンダムZZ」に登場。ジオン軍残党「青の部隊」が運用していた、偵察用のモビルスーツである。ガンダムバトル選手権においては、近くに飛んでいたザクⅢ共々デンドロビウムの攻撃を受け、あっけなく撃破されてしまった。



REAR ▶



EMS-10 ▶ ツダ

# ZUDAH

旧バンダイミュージアム、並びにOVAにて公開された「機動戦士ガンダム MS IGLOO」シリーズに登場した、ジオン軍の試作モビルスーツ。オリジナルの作品では悲運の機体として語られるが、本作ではケンタとリナを相手に奮戦。しかし、ビギニング30ガンダムに撃破された最初のMSになってしまったのも悲運だろうか。

REAR ▶



MA-08 ▶ ビグ・ザム

# BIG-ZAM

「機動戦士ガンダム」に登場。ドズル・ザビ中将が最後に乗ったモビルアーマーとしても知られている。およそ60mに達する巨艦と、多数のメガ粒子砲、足の爪ミサイルなどを搭載した、超強力な機体でもある。さて、実際のガンブラでは大型のビッグザムなど市販されていないはずだが……。

▼実体はなんと唯一のキット化となっている1/650スケールのビッグザムだった。これほど小さいところだと、ケンタのザビーが振り上げる

REAR ▶



▲シールド裏のシュツルム・ファウストでザビーとベアッガイを攻撃。ザビーのシールドを破壊した。なお、ツダが3DCGではなく2Dアニメーションで描かれるのは本作が初となる

# MSペイントコンテスト優秀作品

『機動戦士ガンダムビルドファイターズ』の制作を記念して、『月刊ホビージャパン』『月刊モデルグラフィックス』『月刊 電撃ホビーマガジン』『月刊ガンダムエース』『月刊ケロロエース』の5誌が合同でモデルスーツのペイントコンテストを開催。ホビージャパンの選出した優秀作品は、黒いジ・Oに決定した!

PMX-003 ▶ ジ・O

## THE・O



▲『月刊ホビージャパン』2010年10月号に掲載された、入賞作品のジ・Oの作例。HGUCが使用されており、黒光りしたボディはなんとも上品である。製作は更井貴志氏による

REAR ▶

▼VSガンダムアストレイレッドフレーム。最終にもガーベラ・ストレート1本で戦いを終るレッドフレームに対し、ジ・Oは照し剣を使った巧みな戦法でそれを下している



『機動戦士Zガンダム』に登場した、バブテマス・シロッコ専用の黒いモビルスーツ。重量感あふれるフォルムと、腰アーマーの2本の「照し剣」が特徴的である。ガンブラ/Qトル選手権では、ガーベラ・ストレートを構えるガンダムアストレイレッドフレームの動きを封じ、照し剣のビーム・ソードで破壊している。

RX-77  ガンキャノン

# GUNCANNON

『機動戦士ガンダム』に登場。カイ・シデン(劇場版ではハヤト・コバヤシも)が操縦する試作中距離支援型モビルスーツである。ガンブラバトルの記録映像に登場し、洋上より飛び出たハイゴッグを相手に苦戦。辛うじてキャノン砲で撃ち抜き、海へ落とすことに成功した。『月刊ガンダムエース』優秀作品。パーツCには真つ赤なボディのガンキャノンも登場している。

SIDE 



REAR 



ガンプラ  
ビルダーズ  
03



▲ガンブラバトルではサブ・フライド・ユニットであるド・ディY9に異って出場。よもや所行ユニットの上で戦いを繰り広げることもなるとは予想もしなかっただろう



MS-06  ザクII

## ZAKU II

「機動戦士ガンダム」他に登場。その知名度、バリエーション数の多さから、ガンダム世界を象徴する名モビルスーツといえよう。やはりガンブラバトルの記録映像にその姿を確認でき、クラッカーでガンキャノンと重連型ガンキャノンを撃破することに成功している。「月刊ケロケロエース」傑作作品。

SIDE 

▼重連型ガンキャノン2機とガンキャノン1機で構成された機群に対し、同時に攻撃したミサイルを反射し、機群に命中しなかったようである。攻撃として効果的だったのはむしろ、背後に投げたクラッカーだった

REAR 

MSM-07  ズゴック

# Z'GOK

『機動戦士ガンダム』に登場する、ジオン公国軍の水陸両用モビルスーツ。量産型と、シャア専用機の2種類が存在する。さて、ガンダムバトル選手権の記録映像に残された本機の活躍だが、ギャンに右腕、ゲルググに左腕を破壊されながらも、いずれも返り討ちにするという堂々しいファイトを見た。『月刊モデルグラフィックス』優秀作品。ガンダムバトル選手権には、宇宙空間で戦うシャアカラーと量産型ズゴックの姿も見られている。



▲メガ粒子砲を矢張り早に敵の機體へと撃ち込み、その瞬間こそゲルググだが、反撃を受けて左腕もロストしてしまうのだった

 REAR



4 たたえの戦いを演じられることも、機體の性能を高く評価するのにも一役買った。『月刊モデルグラフィックス』が評価しているように、この機體は、シャア専用機として、非常に重要な役割を果たしている。



4 キヤノンビルダーズで、シャア専用機として、非常に重要な役割を果たしている。この機體は、シャア専用機として、非常に重要な役割を果たしている。

MS-14A ▶ ゲルググ

# GELGOOG

『機動戦士ガンダム』に登場した、ジオン軍の量産型モビルスーツ。終戦直後の実戦投入となったため、さほど目立った活躍はなかった。ガンブラバトル選手権の記録映像では、緑色の機体が登場。ズゴック相手に激闘を見せるが、敵の執念ともいえる攻撃の前に敗北を喫した。『月刊 電撃ホビーマガジン』優秀作品。



▲ズゴックの撃ったミサイルを、ビーム・ナギナタの高速回転でやり過ごす。直後、撃破されたものの、このように妙技もゲルググならではの光栄

もっ  
もっ  
もっ

## ガンブラを探せ!!

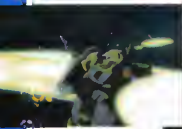
さて、ここまで実に多数のガンブラを載せてきたわけだけど、『ガンブラビルダーズ』にはまだまだ沢山のモビルスーツが登場しているんだ。本項に掲載した他にもあるから、ビデオで目を皿にするように探してみるのも楽しいよ!! さあ、みんなで見つけてみようぜ!!

▶ ビギニング30ガンダムが受けたビームの円盤の衝撃を喰らい、百式がクラッシュした



▲ ガンブラバトル選手権はガンブラで発動されている。機体もオブジェクトとして登場しており、このようにラー・カイラムやクワールなどの他、リー・ノース・Jr やザムス・ガールなどの姿も確認できた

▲ ビギニング30ガンダムの舞臺になった多数のモビルスーツのひとつ、ギラ・ドーガ、他、このシーンではギルネイ専用ヤクトドーガ、クエス専用ヤクトドーガ、マラサイ、リック・ディアス(赤)、ガブスレイが登場している



▲ 手前はリック・ディアス。奥の右よりズゴック(シャア専用、量産型)、ガブスレイ、百式、ガンダムGP02A、ガンダムGP01Fb、ガンダムGP02Aはシールド2枚持ち、百式とガブスレイはガンダムシールドを携行している

▶ ハルのビギニング30ガンダムに襲ったリック・ディアス。ハルとシャワアとの対決に巻き込まれる形で、実に多数のモビルスーツが宇宙の舞台になっていったのであった





模型戦士  
**GUNPLA BUILDERS**  
BEGINNING  
STORY DIGEST



PART 1 「ビギニング30」



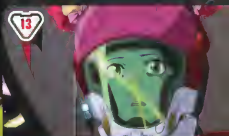
ガンプラバトル選手権への出場を決意するハルたち。そんな中、ホビーセンターからハル宛に謎のパーツが届く。そして選手権当日、会場にハルは現れる。やがてリナたちは先に出現する。だが初めての戦場でリナは混乱し、そこに新装備のビギニング30ガンダムが駆けつけた。そして、いつしか戦場はハルとシャウアーの一戦打ちとなる。やがて月日は流れ、ハルがガンプラに出会って一年が過ぎ、彼らの作例を見て一人の少年がガンプラに興味を持つ。そして……

**これがガンプラバトル選手権!!**





**ごめん!!  
ギリギリまで手を  
入っていたから!!**



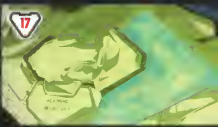
## EXPLANATION

- 主眼のガンブラビーターが族を襲い合うガンブラバトル選手権。映像には市ビエーが公開したオリジナルカラーのMSを活躍する。
- 日清の事務所に協力を依頼するシャワー。同行するサムとダイアンは太鼓を叩く。
- 実はルビーセンターの職員だったバリの父。パーツAで描いていた「最近のガンブラは悪いな」は、親子を引寄せ込むための演技だったのだろう。
- 「月刊永ビエー」の裏の黒セジ。黒い線でアストレイッドフレームを切り刻む。
- オリジナル機のザク・レロ。中のザクが1/144ということ考えると、ザク・レロ部分はフルスクラッチなのか?
- たっつんもスーパーカスタムザクF2000を改造して選手権に出場。
- 水陸両用機のパックガイは手足を折って宇宙を漂流。皮作用による浸透作用「AMBAC」の活用が?
- パックガイを助けるクランのサビー。対比から推測するにクランはMG(マスターグレード)にも見えるが、設定ではHGUCを使用。
- バワーアップバードによって新たな姿となったビギニングガンダム。ビギニングガンダムの誕生である。
- そしてコウジも自分で作ったトリックガンダムでバリエーション戦を挑む。

18



17



見事だな、少年!!

20



19



21



22



STORY DIGEST  
「ビギニング 30」

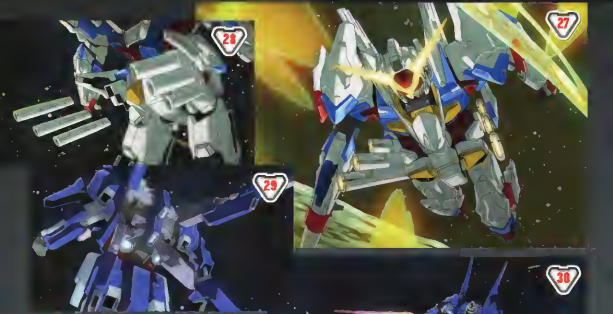
24



23







楽しい……  
楽しいな、少年!!



## EXPLANATION

26 大量のビームを使い、攻撃や防御に活用するイプスユニット。新たに開発された兵器というよりも、あくまでビギニングに費やっていた資源を強化するためのユニットという設定である。

27 ガンダム・ハンマーを取り出すフォーエバー。これも原型である「G30」に付属したオプションである。

28 ビーム砲筒を両腕に持ち、敵は矢のようにビームを撃つベアッガイ。実にリナらしい武器だ。

29 ベンツァイの両肩からはメガ粒子砲を収納。本来のメインカメラはアッガイ側将軍をノアに引く。

30 ケンタウロスのファンネルを切り刻むのブルーディスティニー1号機。一方のダイアノはケンパファアを振り、シャウアー機は機体カラーを黄で統一しているようだ。

31 フィールドで小隊を割り、フォーエバーに岩盤をぶつけるビギニング30。ハルの戦闘能力も確実に向上している。

32 ビギニング30に準拠されたビームサーベルはフィールドで連続動作可能で、手裏剣のように回転しながら敵を切り刻む。

33 フォーエバーもパーツBでは使用しなかったファンネルを装備。本番手帳ではシャウアーは自機の可能性を解放した。

# STORY DIGEST

「ビギニング 30」



33



32

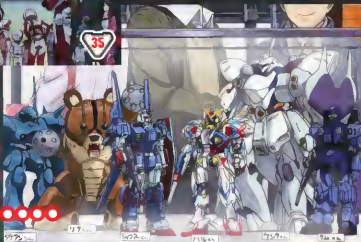


35



34

いっしょに  
作ろうよ……  
ガンプラ!!



最優秀賞作品

36



37

## EXPLANATION

① パールを演じるハルとシャッワー。両者の行方は劇中では語られていなかったが、二人にとって機体はもはや関係ない。彼らは心の影からガンプラを演じこんでいるのだから。  
② シャッワーとハルの機体を競合する選手たち。未就学児達らしき子供から両親まで、幅広い層が参加していたようだ。  
③ そして舞台は静岡市ビーファの「RG1/1 ガンダムゾーン」に。実物大ガンダムの横にはハルやシャッワーたちのガンプラが最優秀賞作品として展示されていた。「シャッワーくん」という表記が常になる。  
④ ガンプラマイスターに成長し、新たなガンプラビルダーの誕生を見守るハル。こうしてガンダム30周年から始まった物語はガンプラ30周年で幕を閉じる。肩たたき30年目の始まりである。





**HG**  
GUNPLA 00

**001**

1/144

**GPB-X80**

**ビギニング  
ガンダム**

本作の主役機をオール新造でキット化。パーツは赤、青、黄、白、グレー、クリアイエローの6色成型で、ホイルシールを貼ることで未塗装でも劇中に近いカラーリングが再現できる。なお「ガンダムビルドバーズ」のMSは文字通り「ガンダム」という設定だが、キットにはガンダムバトル時の機体全高などが記され、他のHG同様1/144のスケールが表示されている。ビームサーベル、ビームライフル、シールドが付属。価格1680円で2010年9月発売。



**BOX  
ART**

★ガンダムビルドバーズシリーズを再現し、ビームサーベル、ビームライフル、シールドが付属。価格1680円で2010年9月発売。





## ♡ スミ入れ

パーツに刻まれたディテールやスジ彫りを際立たせる工程。これを飾することで立体感が強調される。



▲まず「1」マーカークラッシュグレイで溝を塗り、乾く前にはあまった塗料をティッシュで拭き取る。一気に塗るのではなく、少しずつスミを入れるのがコツ



▲パーツにスミ入れを施したことで、凹凸が強調され引き締まって見える。なぜマーカークラッシュグレイを使うのかは、塗料の乾燥を少量ずつ塗り重ねたティッシュで拭けばOK



▶パーツを撮影した際、ゲート跡が強く目立ってしまうことがある。そんな場合はスミ入れと同じ箇所で、乾燥熱と似た色のリアクタマーカーでリタッチすればOK

## ♡ シール貼り (その1)

成型時に再現しきれない彩色部分は、付属のホイールシールを貼れば対応可能。その手順を丁寧に教えます。



▲シールを「1」裏面と面の間で粘着力が低下したり、シールが破れたりしないよう、ピンセットでシールの端を引っ張って少しずつ貼っていきます



▲正視が困難な部分、裏面にシールを貼ることで完成。もし剥がれたら思い切って部分塗装にチャレンジしてみよう



ピンセットがない場合はつまようじでシールを貼るのもアリだぞ

## ♡ シール貼り (その2)

続いてはガンダムと命とも言うべき顔のシール。劇中でもシャウアーに指摘されたハードルの高い部分だ。まず顔のスミ入れを先に済ませておこう。



▲ピンセットでシールのウチを掴み、鼻の上から、口に合わせて位置を調整。位置が決まったラマコグを挟んで、目の凹凸に合わせてシールを調整させておく



顔(B14)にアゴ(A13)を付けてからシールを貼るほうが作業しやすいわよ



▲顔の位置が決まったら、アンテナの位置も決まってくる。鼻と口の部分を調整するより早く

## ♡ アンテナの加工

ガンダムの頭部アンテナには安全基準の都合により「フラッグ」と呼ばれる余剰パーツが成型されている。これを削ぎアンテナを設定通りの形状にしよう。



アンテナ(A2)はクリアパーツなので丁寧に切り取ろう



▲一度にフラッグを削るのではなく、まずは断面を小さくカットする。これは先ほどの顔面(パーツのゲート)の位置、部材から切れることを防ぐためである



▲フラッグを削り出した状態。これにより前後のシャープな角が削れ、アンテナの形状が整えられる



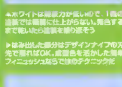
# —HOW TO BUILD BEGINNING GUNDAM—

## ♡ ガンダムマーカーを使った塗装

設定通りのカラーに仕上げたいなら塗装は必須。ここでは手軽に塗装ができるガンダムマーカーを使った塗装を教えます。なおマーカーは使用前によく振っておくと。



4 ガンダムホワイトでカットの三角パーツのフチを塗る。ペン先を押付けすぎると塗料が出すぎるので注意しよう



4 完成。塗と塗べるとクセのあるガンダムマーカーだが、使いこなせば手軽にガンダムを塗りあげることができる



▲ 設定通りのカラーに仕上げたいなら塗装は必須。ここでは手軽に塗装ができるガンダムマーカーを使った塗装を教えます。なおマーカーは使用前によく振っておくと。



## ♡ 缶スプレーと筆を使った塗装

ビームサーベルの持ち手をガンダムマーカーだけで塗装するのは難しい。MRベースホワイト（GS1クレオス 630円）とマスキングテープ（タミヤ模型 367円）を使ったワンランク上の塗装に挑戦してみよう。



4 ▲ まずはマスキングテープでビーム部分をマスキング。厚薄なくマスキングしたらクリップなどで挟み、20分ほど置いた後塗料からホワイトをぬく



4 ▲ 2枚ものも染色するまで乾燥と塗料を塗り直す。乾いたら2枚目の塗装。今回はガンダムマーカーのガンダムグレーのペン先を押付けずに塗料を出す



▲ 最終段階でマスキングテープで塗り、はみ出したガンダムマーカーのガンダムホワイトをリタッチ。乾燥したらドロンパッドでマスキングテープをリップし剥がす



ヒジパーツ（C10）と足首の三角パーツ（A28）は上下を間違えないように

マーカーは使用前によく振っておくと。設定通りのカラーに仕上げたいなら塗装は必須。ここでは手軽に塗装ができるガンダムマーカーを使った塗装を教えます。なおマーカーは使用前によく振っておくと。

# -HOW TO BUILD BEGINNING GUNDAM-



いよいよ最終コーナー。ここではビギニングガンダムをよりリアルにより格好良く仕上げするためのもうひとつ工夫を凝らすよう。

## ♥ パーツの加工にチャレンジ



④シールドの赤い生肉は、固定では立体的なディテールとなっている。実はこの部分は、1mmのパーツのピンをニッパーで切断し、プラ用接着剤で接着すれば固定とありの形とほぼ同じのガンダムのパーツは、このパーツが余るのて流用するとよい。



▲トコから左手のパーツの加工。手の内部部分にデザインナイフで開きを入れ、指の間に接着剤がはくように角を削りつけて接着。これにより左手でもビームライフルのフィアグリップを握れるようになる。接着剤が乾く前にグリップを固定し、指の指環をしておこう。



▼ガンダムホワイトで塗装。ほみ出しやすい部分なので、ガンダムマーカーで黒に塗るとは注意。



▲ビームサーベルのグリップ角端はガンダムマーカーのガンダムブルーで塗装。黒い部分なので塗料を使おう。



④黒の内側はガンダムブルーで塗装。入り込んだ部分が多いので、ここは薄塗りで塗るのがベスト。塗料に塗料が滲まらなように。



肩の三角パーツは前後で色が違うので、完成写真をよく見て間違えないように。



▲ヒザ関節の内側もガンダムホワイトで塗装。見逃しやすい部分なので忘れず。

## ♥ 部分塗装にチャレンジ

## ♥ 完成!!

説明とおりに組んでもカプセルをギンクガンダム。しかし、ここで紹介したように少し手を加えることで、写真のように一段と格好よく仕上がるのだ。ガンダムは分解可能なスナックフック式なので、すでに組んでしまった人も、ハッパのハル君のようにぜひチャレンジしてほしい。自分だけのガンダムを作ることができれば、それはもう立派なプラモデルマスターだ。

④新機軸と旧機軸、部分塗装やスミ入れをすることで、肩や肘の関節は、はみ出しやうねり（ホウキウ）がはみ出しの状態で完成。ここで紹介したすべてを実行する必要はない。自分の想像や持っている道具をよく使って、ガンダムを自分だけのガンダムに仕上げよう。





**HG**  
GUNPLA BUILDERS

**002**

1/144

**RX-93-ν2**

**Hi-νガンダム  
GPBカラー**

「HGUC Hi-νガンダム」のコウジ仕様。Hi-νガンダムの青い部分をダークブルーに、ライトグレー部分を黄色に変更し、ホイルシールも異なるデザインのものが付属している。ビーム・サーベル、ビーム・ライフル、ニュー・ハイパー・バズーカ、シールド、フィン・ファンネルが付属。Hi-νガンダム同様ファンネルは4枚が非可動式なので、すべて可動式にするにはコウジ同様にキットを3つ買う必要がある。価格2310円で9月発売。



**BOX  
ART**

Hi-νガンダムの目撃は富士山噴火の噂が流れていて、その噂を信じたコウジは、ビーム・バズーカで、富士山を爆破しようとした。

**RX-93-ν2 Hi-ν GUNDAM GPB COLOR**  
1/144「Hi-νガンダム GPBカラー」HG

**HG**  
COMPLA BUILDERS

**003**

1/144

**GPB-06F**

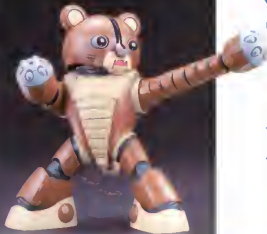
**スーパーカスタム  
ザクF2000**

「HGUC ザクⅡF2型」の成型色を紫に変え、新造形の武装や装甲を追加した豪華キット。ザクF2のランナーがすべて入っているため、紫色のザクF2として組むことも可能だ。ポルテックマシンガンZ、デッドエンドGヒート・ホーク、ザク・マシンガン2種、ミサイルポッドなどが付属。デッドエンドGヒート・ホークの刃はクリアパーツを使用し、F2のパーツを流用したオリジナルのシールドも付属する。価格2310円で2010年11月発売。

**BOX  
ART**

※「パーツの製造に当たっては、環境に配慮し、再生紙を使用しています。また、製品の梱包に際しては、環境に配慮し、再生紙を使用しています。また、製品の梱包に際しては、環境に配慮し、再生紙を使用しています。」





**HG**  
GUMPLA BUILDERS  
**004**  
1/144

**GPB-048**

ベアッガイ

「HGUC アッグガイ」の頭部やランドセルを変更したキットで、本作のメインビジュアルにも登場したため公開前から話題となった。口やランドセルは開閉式で、モノアイもレールに沿って可動。またアッグガイ本来の差し替えによる腕伸縮ギミックも健在で、非常にプレイバリューの高いキットとなっている。さらに目のシールは表情違いの3種が用意され、組み立て説明書には女の子らしい「丸文字」を使うなど芸も細かい。価格1890円で2010年12月発売。



**BOX  
ART**

★バリエーション豊富なHGUCシリーズの定番であるベアッガイは、このHGUCシリーズで登場する。このHGUCシリーズは、HGUCシリーズの定番であるベアッガイは、このHGUCシリーズで登場する。

# HG

COMPACT BUILDERS

## 005

1/144

GPB-X78-30

# フォーエバー ガンダム

※本誌掲載のガンダムは、HG 1/144 RX-78-2 ガンダム Ver.G30thをベースに、全身のほとんどに追加の装甲を加えたフルアーマーフォルムとなっている。武装は30thと同様の物が付属し、パーツCのガンダムハンマーを使用するシーンも再現できるのだ。価格2100円で2011年1月発売。

HG 1/144 RX-78-2 ガンダム Ver.G30th]をベースに、全身のほとんどに追加の装甲を加えたフルアーマーフォルムとなっている。武装は30thと同様の物が付属し、パーツCのガンダムハンマーを使用するシーンも再現できるのだ。価格2100円で2011年1月発売。





**HG**  
GUNPLA BUILDERS  
**006**  
1/144

**GPB-X80-30F**

**ビギニング  
ガンダム  
30**

「HGビギニングガンダム」に、イフスユニットおよび「フィールドから発生した  
ビーム増幅状態を再現したクリア成形のエフェクトパーツを加えたもの。フォー  
エパーガンダムと並べてパーツCのクライマックスを再現しよう!! 価格2100  
円で2011年1月発売。

「HGビギニングガンダム」に、イフスユニットおよび「フィールドから発生した  
ビーム増幅状態を再現したクリア成形のエフェクトパーツを加えたもの。フォー  
エパーガンダムと並べてパーツCのクライマックスを再現しよう!! 価格2100  
円で2011年1月発売。

**HG**  
GUNPLA BUILDERS  
1/144

**サザビー  
GPBカラー**



ガンブラバトル選手権でケン  
タが整る、ホワイトボディ  
のサザビー。ボディは2色成  
型。ホビーオンラインショップ  
限定商品。価格2940円。



**HG**  
GUNPLA BUILDERS  
1/144

**白式  
百式 GPBカラー**



パーツBでシタが作ったガンブラパーツCに  
は、金色の白式も登場。ホビーオンラインショップ  
限定商品。現在、お急ぎを。価格1260円。





**HGUC**  
1/144

**MS-09  
MS-09R**

リック・ドム

BOX

「機動戦士ガンダム」に登場、陸戦型のドムと、宇宙用のリック・ドムの2種類のいずれかに組むことができるコンバチキットである。武器はシャイアント・バズとビーム・バスターが付く。ガンプラビルダーズでは、オオイガワの筆でバウに一方的に攻められ、あっさりと撃破された。2006年1月発売、価格1785円。



# ガンプラ バトル

COMPLA BUILDERS

## 登場 GUNPLA COLLECTION

「ガンプラビルダーズ」で描かれたガンプラバトルには、実に様々なモビルスーツやモビルアーマーが参加している。ここからは、本欄に登場したガンプラたちを紹介したい。HGUCシリーズ、HGシリーズだけでなく、昭和時代のガンプラもまだまだ現役で活躍しているのだ!!



**HGUC**  
1/144

**NRX-044**

アッシマー

BOX

機動戦士ガンダムIに登場する、可変型モビルアーマーを商品化、特約的な変形ギミックを、手前の収納に至るまで完全に再現している。ガンプラビルダーズ本編では、コウジの乗ったレガンダムの攻撃を受けモビルスーツに変形、応戦するも、ファンネルの一声攻撃から折れられなかった。2005年6月発売、価格2100円。



**HGUC**  
1/144

**MS-05L**

ザクI・スナイパータイプ

BOX

機動戦士ガンダム 戦場の輝きに登場した、ザクのスナイパー仕様を立体化。ビーム・スナイパーライフルを構えた立体的なポーズを取ることができる。他にマシンガンが付属する。「ガンプラビルダーズ」では、最初にハムと交戦状態となり、日本軍より狙撃するものの、何の活躍のいまだ行動不周に。2006年11月発売、価格1470円。



**HGUC**  
1/144

**MSN-04**

アッグガイ

BOX

機動戦士ガンダムIに登場した、水陸両用モビルスーツをキット化。無敵クローとミサイルランチャーは選択式で、右腕には「第08MS小隊」に登場した変換状態を再現するためのパーツも付く。「ガンプラビルダーズ」では、リガが改造した状態で登場。2007年4月発売、価格1470円。



**HGUC**  
1/144

**AMX-107**

バウ

BOX

機動戦士ガンダムZZに登場する、可変分離型モビルスーツを製品化。上半身のバウ・アタッカー、下半身のバウ・ナッターへの分離を再現している。「ガンプラビルダーズ」においては、射撃相手のドムの右腕を破壊した後、バウ・ナッターで敵軍を包囲したのも、本編も再現している。2000年9月発売、価格1260円。





**HGUC**  
1/144

**MS-14/MS-14C**

ゲルググ  
ゲルググ  
キャン

BOX

「機動戦士ガンダム」ならびに「モビルスーツR1エディション」に登場した量産型モビルスーツをキット化。量産型ゲルググ、またはゲルググキャンに絡めるコンバットキットである。「ガンブラビルダーズ」では、過去のガンブラ選手権の記録映像にゲルググが登場、ズゴックに戦北する場面が映された。2007年3月発売、価格1680円。



**HGUC**  
1/144

**MSM-03C**

ハイ  
ゴググ

BOX

「機動戦士ガンダム0080 ポケットの中の戦争」の作風に登場した、水戦両用モビルスーツを製品化。パーツの組み替えで、水中航行形態を再現できる。「ガンブラビルダーズ」においては、過去のガンブラ選手権の記録映像に登場。ガンキャンを相手取り、ド・ダイYSの上で激戦を演じた。2003年6月発売、価格1260円。



**HGUC**  
1/144

**YMS-15**

ギ  
ヤ  
ン

BOX

「機動戦士ガンダム」に登場した、マ・クベ専用モビルスーツをHGUC化。メモリアルアクションとして、サーベルを両手で持てるポーズが付属している。「ガンブラビルダーズ」では、やはり過去の選手権の記録映像の中で登場。果敢にもズゴックに戦いを挑むものの、返り討ちに遭ってしまいました。1999年7月発売、価格840円。



**HGUC**  
1/144

**RX-77-2**

ガ  
ン  
キ  
ャ  
ノ  
ン

BOX

「機動戦士ガンダム」に登場した、中距離支援型モビルスーツを立体化。メモリアルアクションとして、手裏パーツの差し替えで、種もすべてキャンオン砲を発射する態勢が再現可能。「ガンブラビルダーズ」には、過去のガンブラ選手権の記録映像に登場。ハイゴッグと激戦を繰り広げ、辛くもそれを撃退した。1999年5月発売、価格840円。



**HGUC**  
1/144

**MSM-07**

ズ  
ゴ  
ッ  
ク

BOX

「機動戦士ガンダム」に登場した、水陸両用モビルスーツを製品化。鋼のジャババがボールジョイントで自在に動き、クローが機能する。「ガンブラビルダーズ」では、過去のガンブラ選手権の記録映像と、ハルたちが参戦したガンブラ選手権に登場。前者は2機を撃退し、後者は逆に撃退された。シャア両の戦い、カラー版も登場。1999年11月発売、価格735円。



**HGUC**  
1/144

**MS-05L**

ジ  
オ  
ン  
軍  
用  
機  
動  
機  
銃  
機

BOX

「機動戦士ガンダム」に登場の、サブライツシステム、いわゆる「白キッド」に似る、年代もののキットにあたる。発売の1/144スケールを保持できる改良版パーツが付く。「ガンブラビルダーズ」では、ガンキャンを乗せて海上を飛行、海から研かれたハイゴッグとの戦いの舞台と化した。1981年11月発売、価格525円。





HGUC  
1/144

PMX-03

ジ・O

BOX

機動戦士Ζガンダムに登場する、ババテス、シロウコ専用機をキット化。機体各部プロポーションを再現し、機体スカートに内蔵された「隠し翼」が自在に可動する。「ガンブラビルダース」において、ガンブラビル選手権に出場、ガンダムアストレイ レッドフレームを破し戦で撃破した。2002年12月発売。価格2520円。



HGUC  
1/144

MS-06

量産型ザク

BOX

「機動戦士ガンダム」に登場する、量産型モビルスーツをHGUCとして発売。機体全長が付けられている。「ガンブラビルダース」においては、過去のガンブラビル選手権に登場。ガンキャノンの一部にクワッカーを付けつけている。ザク・レロの口の中もこのキットと思われる。2003年9月発売。価格1050円。



RX-78GP03  
ガンダムGP03  
デンドロビウム

機動戦士ガンダム0083 STARDUST MEMORYに登場する巨大モビルアーマーを、約1mの1/144スケールで製品化。ガンダムスタイルメーンとアームベース、オーキスの分離、様々な武器の装備が再現されている。ガンダムビルダースのガンブラビル選手権では、ザク・レロの口の中にも登場した。2002年3月発売。価格29400円。

BOX



HGUC  
1/144

RX-77D

ガンキャノン  
量産型

BOX

機動戦士ガンダム0080 ポケットの中の戦争に登場する。量産型モビルスーツをHGUCとして製品化。90mmマシンガンが付けられ、240mmキャノン砲の収納も再現されている。ガンダムビルダースでは、他のガンキャノンとともに出現するも、ザクのクワッカーを喰らって爆発している。2004年6月発売。価格1050円。



HGUC  
1/144

RX-78GP03S

ガンダムGP03S  
スティヤ

BOX

ガンダム試作3号機のコアユニットであるガンダムスタイルメーンをHGUCとして製品化。ガンダムビルダースのガンブラビル選手権では、ガンダムビルダース2000と対決し、デッドエンドGヒート・ホークに敗戦した。2001年12月発売。価格1680円。



HGUC  
1/144

MBF-P02

ガンダムアストレイ  
レッドフレーム

BOX

「機動戦士ガンダムSEED ASTRAY」シリーズに登場する。ロウ・ギュール専用機をHGUCとして製品化。特徴的なデザインを再現し、要部のガベラ・ストレートにはメッキ加工が施されている。ガンブラビルダースではガンブラビル選手権に登場。ジ・Oを相手取るが敗北を喫した。2003年11月発売。価格1200円。





1/550

ジオン軍モビルアーマー  
ビッグザム

BOX



機動戦士ガンダムに登場した、巨大モビルアーマーを1/550で立体化、脚部が自在に可動する。ガンブラビルダーズ1本編では、ガンブラ選手機に出場した1機として登場。1/550の悲しさか、存在そのものがコケおしだった。1981年9月発売、価格420円。



HGUC  
1/144

AMX-011

ザクⅢ

BOX



機動戦士ガンダムZZに登場した、ネオ・ジオンの最悪型モビルスーツをHGUCとして新色化しビーム・ライフルなどが付属するほか、肩フロントアーマーのビーム・キャノンも可動する。「ガンブラビルダーズ」において、デンドロピウムの攻撃を受けて撃破されている。2000年9月発売、価格1575円。



HGUC  
1/144

EMS-10

ツダ

BOX



機動戦士ガンダム MS IGLOOシリーズに登場する、ジオン軍の試作型モビルスーツをHGUC化。真なる顔面形状(1号機、2-3号機、予備機)が再現できる。ガンブラビルダーズではホビーショップAXISのチームと交戦、ケノタとリナを苦しめるが、ビギニング30ガンダムが放ったビームの中に溺れた。2006年6月発売、1470円。



HGUC  
1/144

RMS-119

アイザック

BOX



機動戦士ガンダムZZに登場、ジオン残党が運用したモビルスーツを、HGUC化。巨大な顔面レドームの回転を再現し、ザク・マシンガンなどの武装も付属している。ガンブラビルダーズにおける登場場面はガンブラバトル選手機で、ザクⅢ共々デンドロピウムに撃破されている。2009年6月発売、1680円。



HGUC  
1/144

AMS-119

ギラ・ドーガ

BOX



機動戦士ガンダム 逆襲のシャアに登場したネオ・ジオン軍のモビルスーツをHGUCとして新色化。ビーム・マシンガン、ビーム・ライフル、アックス、シールド、ショウルム・ファウスト×4が付属する。ガンブラビルダーズ1での登場場面は、ビギニング30ガンダムによるモビルスーツ連続攻撃の最初の機体だった。2008年11月発売、価格1690円。

ジオン軍モビルアーマー  
ザクレロ

1/250



機動戦士ガンダムに登場する、宇宙戦用試作型モビルアーマーをキット化。いわゆる「巨キット」3Dのつとである。関節部が自在に可動。オマケとして1/550ザクレロと、同スケールのGJパーツ付きガンダムが付属する。ザク・レロのベースキットにはサイズが違いすぎるが、ザクレロのブリット同一のものとして登場。1982年6月発売、525円。





**HGUC**  
1/144

**RMS-108**

**マラサイ**

**BOX**

機動戦士Zガンダムに登場した隠匿型モビルスーツをHGUCとしてリファイン・ハイザックと同型の「ライフル」などの武器が付属し、腕部、腰を結く首と両肩にシールドが取り付けられている。また、ライフルの両肩には、シールドの裏面は、やはりビギニング30ガンダムの連続撃破の1機であった。2005年1月発売、価格1470円。



**HGUC**  
1/144

**MSN-03**

**ヤクト・ドーガ**

(ギニュー・ガス専用機)

**BOX**

機動戦士ガンダム 逆襲のシャアに登場した、ギニュー・ガスが操縦するニュータイプ用モビルスーツを商品化。ビーム・アサルトライフルなど手荷武器のほか、展開状態のファンネル8個が付属。「ガンブラビルダーズ」での登場シーンは、ガンブラ選手権におけるビギニング30ガンダムによる連続撃破である。2007年10月発売、価格2310円。



**HGUC**  
1/144

**RX-110**

**ガブスレイ**

**BOX**

機動戦士Zガンダムに登場した、可変モビルアーマーを縮み替える変形で再現。フェーダー・ライフルとビーム・サーベルが付属する。「ガンブラビルダーズ」においては足場整備、ビギニング30ガンダムに勝利に貢献された機体と、ガンダムシールドを模した機体が存在しているが、これも裏面されている。2006年12月発売、価格1680円。



**HGUC**  
1/144

**MSN-03**

**ヤクト・ドーガ**

(クレスニア専用機)

**BOX**

機動戦士ガンダム 逆襲のシャアに出てきた、クレス・バライの乗る機体とHGUCとして商品化。頭部形状がギニュー機と異なり、肩付火器がメガ・ガンリングガンバに変化していること以外はギニュー機と基本的に同じ。ガンブラ選手権において、ビギニング30ガンダムに撃破されたモビルスーツの1機。2007年10月発売、価格2310円。



**HGUC**  
1/144

**RX-79BD-1**

**ブルーディスティニー 1号機**

**BOX**

機動戦士ガンダム外伝 THE BLUE DESTINYに登場する主役メカを商品化。ガンブラビルダーズ、ではシャアの部下サムが操縦した機体として出現。サム機は宇宙用のB02機種の「バックバウ」と異なり、シールドを装備しているため、単に1号機を組んだだけでは機体を再現できない。2007年7月発売、価格1575円。



**HGUC**  
1/144

**RMS-099**

**リック・ディアス**

(クアトロバジナカラー)

**BOX**

機動戦士Zガンダムに登場する、赤いリック・ディアスをHGUCにラインナップ。クレイ・バズーカの機、ビーム・ビートルやビーム・サーベルが付属する。「ガンブラビルダーズ」ではガンブラ選手権に登場、ビギニング30ガンダムの連続撃破を受けたモビルスーツの1機であった。2002年8月発売、価格1260円。







メガサイズ  
モデル

1/48

# ガンダム

GREEN TOKYO GUNDAM PROJECTの1/1ガンダム立像をモチーフにした大型プラモデル。全高はなんと375mm!! 組み立ては非常に簡単で、完成後の存在も素晴らしい。ガンダム入門にはもってこいのアイテムである。ピーム・ライフル、ビーム・サーベル、シールドが付属。2010年3月発売。価格8000円。



メガサイズ  
モデル  
1/48

ガンダム  
プロジェクトVer.1



RGデザインのデ  
カールが付属する



東洋館のRG1/1ガンダムを忠実に再現したメガサイズモデル。このアイテムの海の神話として、30周年ロゴ入りミニチュメント、専用手紙、東洋館立像仕様のマーキング(デカール・ホイルシール)が付属する。「世界の模型屋 東京ホビーフェア」のRG1/1ガンダムゾーンオフィシャルショップ、またはホビーオンラインショップで発売中。価格7800円。



機動戦士  
**GUNPLA BUILDERS**  
BEGINNING  
ガンダムビルドファイターズ

# スタッフインタビュー

作画 西澤昌徳  
仕上げ 黒木智一  
作画 中野浩徳  
CG 佐竹光太郎  
初版 7月21日ニュータイプ2010年9月号















# GOODS COLLECTION

ガンプラビルダーズのパーツA パーツB、パーツCを完全収録したブルーレイ&DVDが発売中!! その他にもカードゲーム、コミカライズなどガンプラビルダーズの世界はまだまだ拡散しているのだ。

## ▶ Blu-ray

パーツA、B、Cと数冊特典  
オーディオコメント、PV  
編、ガンプラCM編などの収録。  
16ページライナーノート  
付き。●発売元/バンダイ  
ビジュアル●5040円



## ▶ DVD

パーツA、パーツB、パーツCを収録。16  
ページライナーノート付き。●発売元/バン  
ダイビジュアル●3990円 なお、レン  
タルDVDも同時リリースされる。

## ▶ Blu-ray COLLECTOR'S EDITION

パーツA、パーツB、パーツCおよび特典  
特典(オーディオコメント、PV編、ガン  
プラCM編など)を収録。題するイラスト  
を使用した特典スリーブに、K.AmyYUが書  
く主題歌「my proud, my play!」と、黒田  
洋介監と下るしのサウンドトラックが入っ  
た特典CDも同梱される。16ページライ  
ナーノート付き。●同時限定生産。●発売元  
バンダイビジュアル●7140円



## ▶ カードダスマスターズ G ガンダムウォー コラボレーションブースター ガンプラ 30th メモリアルエディション



ガンダムウォーとガン  
プラコラボレーション!!  
超☆ボックスアートが  
豪華なカード、カー  
ドゲームを楽しむの  
でなくコレクションカ  
ードとしても、星めいの  
なるシリーズとなっ  
ている。もちろんガン  
プラビルダーズも星  
めいの。●発売元/バン  
ダイカード●価格  
1パック530円

ガンダムウォー

## ▶ 模型戦士ガンプラビルダーズ A

海山陣由の制作の(月刊)クロエースに、ガンプラビルダーズのコミ  
カライズ(ガンダム、モビルスーツ)を掲載するのほかに、アニメメ  
ソッドとガンプラビルダーズの関係性も紹介する



## ▶ ガンプラ 30 周年 記念キャンペーン スペシャルDVD

30周年11月27日よりスタート。ガンプラの40  
周年を2000円以上買ったらもらえる特典品D  
VDでパーツA、PV(パーツB、PV)やCMを収録。  
P(ストーリー)やCMを収録。(店頭で  
なく取り扱ったと知ります)



# アニメーション用 作画参考設定

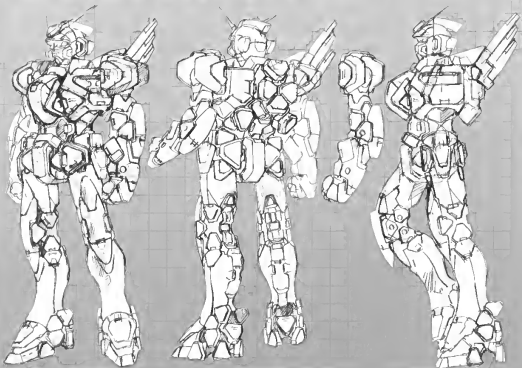


本項では「模型戦士ガンプラビルダーズ」  
アニメーション作画参考用に描き起こされた  
設定画(ラフデザインおよび作画用画稿を含む)を公開しよう。  
ガンプラのディテールアップ、スクラッチビルドや  
動きの参考資料となれば幸いである。

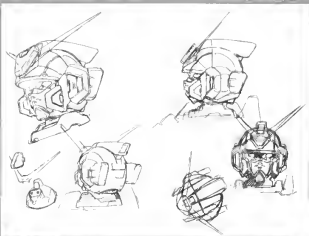
# BEGINNING GUNDAM

## ▶ ビギニングガンダム

▼ 豊田繁氏によるプロポーション参考用図解。P8に描かれた機本設定は、これをクリンナップしたものである



▲ ヒームサーベルを抜く際のアクション。および頭部中心の振り方について参考がなされた機體。サーベルの基部は前後に回転するとの指定がある

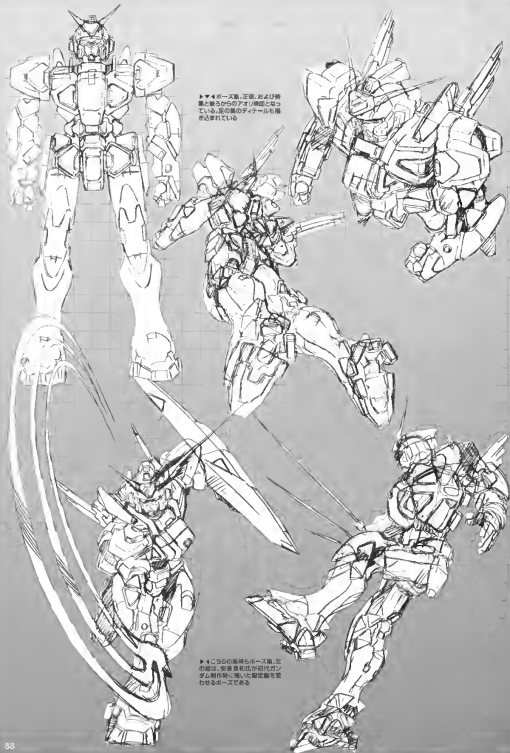


▲ 頭部の参考用図解。ゾノはヒームなどで覆われている。右下にはゾノの構造も描かれている

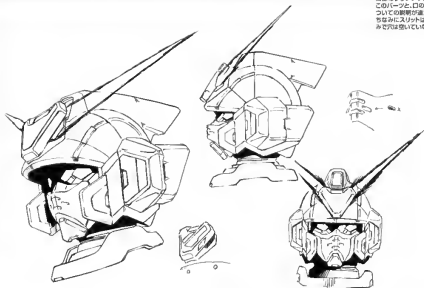


▶▼▼ポーズ編、正面、および側面と後ろからのアオリ構図となっている。足の裏のディテールも描き込まれている

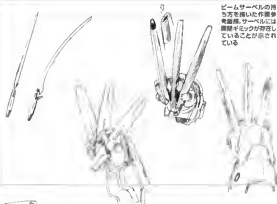
▶4こちらの最終ポーズ編、左の線は、安彦良和氏が初代ガンダム制作時に描いた設定画を繋ぐポーズである



機体のクランプ機構、若くはこのパーツと、口のスリットについての説明が追加された。ちなみにスリットはヘコミのみで穴は空いていないという



## 基本設定



ビームサーベルの持ち方を描いた作画参考画像。サーベルには関節ギミックが存在していることが示されている



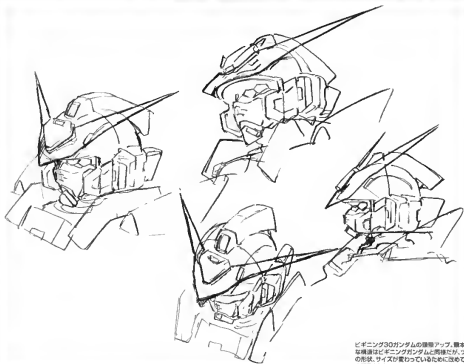
●バージョンAでベリガンダムとの類似で左腕を新装した位置、露出したジョイントはHGBFビニングガンダムと同じ形状で描かれている

●4関節の構造図、関節にも三角形のジョイントが存在することがわかる



# BEGINNING 30 GUNDAM

## ▶ ビギニング 30 ガンダム



ビギニング30ガンダムの機体アップ。機体的な構造はビギニングガンダムと同様だが、ツノの形状、サイズが変わっているために改めて描き起こされた



▶ マビギニング30ガンダム用のビームライフルの簡易設定図。ライフルはビギニングが使用していた型に、影響のユニットを追加した嗜好である。イクスユニットの三角部分の内蔵メカも描き込まれている



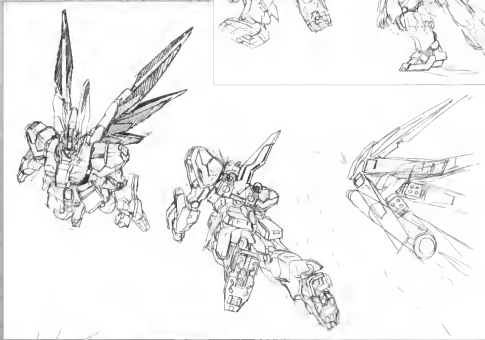
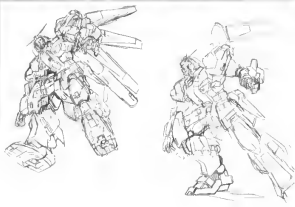
基本  
設定



# Hi-V GUNDAM GPB COLOR

## ▶ Hi-Vガンダム GPBカラー

▶ 田田氏によるHi-Vガンダムのポーズ画。フィン・ファンネルを厚めに描く、という指示がなされている



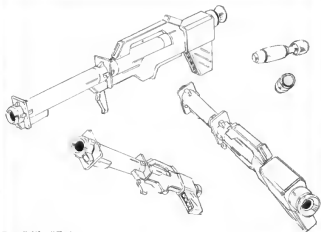
▶ 左右の翼が非対称と作っているという設定のため、それぞれ参考用の描画が添えられた



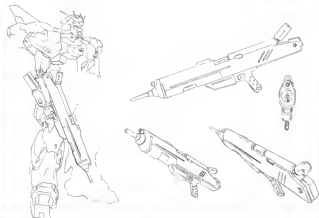
● 上右のアップ・アール。鼻の裏にのこも歯が入れも舌内面の歯力には ロンター・ル海のエムブレムが入る



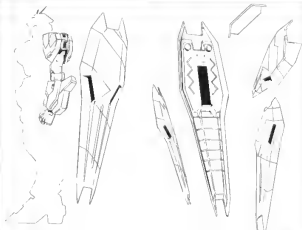
基本  
設定



ニュー・ハイパー・バズーカ。  
ガンプラに付属する各種武器  
も新たに絵にされている



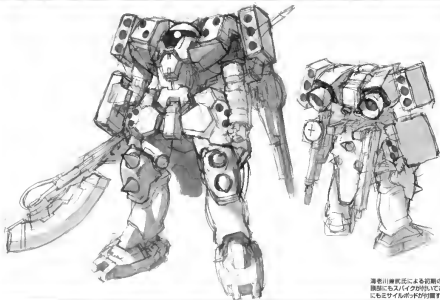
★ビーム・ライフル。これら  
の武器がアニメーションの  
映像で描かれるのは、本作  
が最初となる



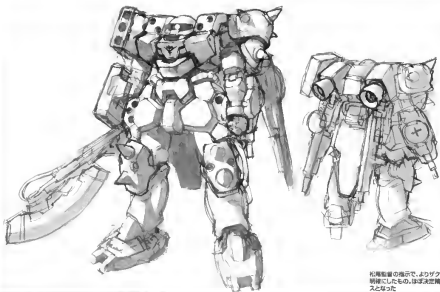
★シールドの 形状、色調と装  
飾まで描かれている。原画  
はアニメ用にディテールが  
簡略化された

# SUPER CUSTOM ZAKU F2000

## ▶ スーパーカスタムザク F2000



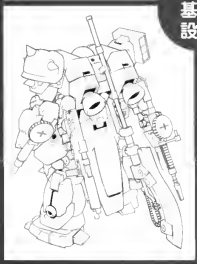
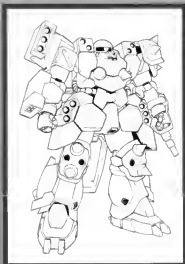
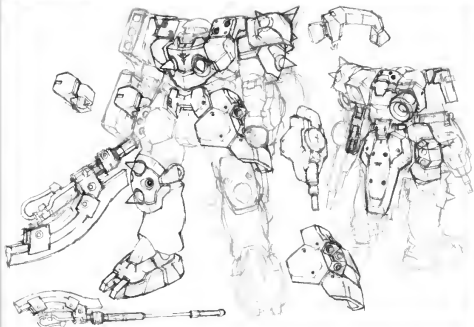
海老川廉氏による初期の図稿で、  
腰部にもスパイクが付いており、左腕  
にもミサイルポッドが付属する



松尾弘重の指示で、よりザクの原形を  
明瞭にしたもの。ほぼ決定稿のバラン  
スとなった



▼胸にスパイクが追加され、各種武器も機  
体のラレた決定機体前の機体、デッドエン  
ドヒート・ホークはより大膽化される

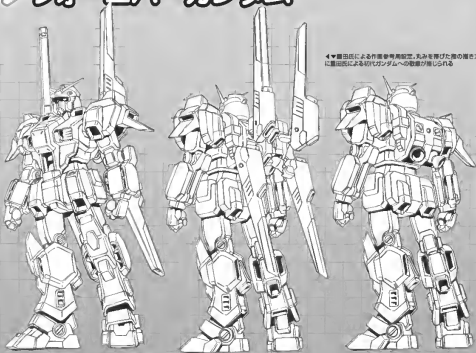


基本  
設定

# FOREVER GUNDAM

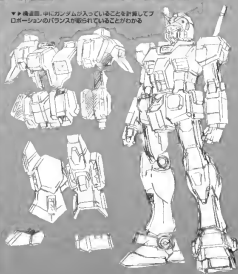
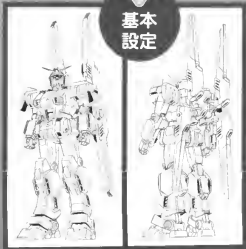
## ▶ フォーエバーガンダム

4▼ 藤田氏による作画参考用設定。丸みを帯びた機体の描き方に豊田氏による初代ガンダムへの敬意が感じられる



基本  
設定

▼▶ 機体図。中にガンダムが入っていることを示画してプロポーションのバランスが整っていることがわかる



# BEARCCUY

## ▶ベアッガイ

♡  
基本  
設定

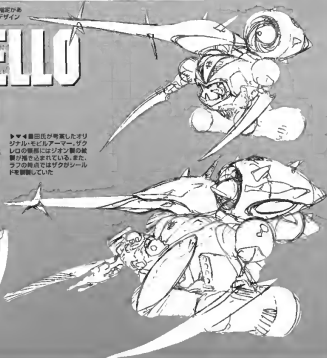


▲（左）甲に描かれたプロトベアッガイ。耳の内側はビニール製との指定がある。左手の指は関節ではもつとリアルに描かれた。製図氏によるラフデザイン

# ZAKU-RELO

## ▶ザク・レロ

▶▼▲ 黒田氏が考案したオリジナル・モビルアーマー。ザクレロの機体にはジオン軍の紋章が描き込まれている。また、ラフの時点ではザクがシールドを装備していた







## 「物語」の誕生前夜

1990年7月より歴史が開始されたガンブラは、TVアニメ「機動戦士ガンダム」の放映終了後の発売にも関わらず、好意をセールスを記録。以降、数回に隔ち各品を増やしていった。また、それでは、オリジナルキャラクターなどのスケールキットに取り替えていた「月刊ホビージャパン」でも製作記事が掲載され、その背景はガンブラを中心としたアニメのプロモーターが中心になる。ガンブラの存在は、「機動戦士ガンダム」を支持する高年齢層向けのアイテムがないという状態に創した一歩の光であり、そこにファンが手を伸ばすことによって自然発生的な盛り上がりを見せた結果としての大成功だった。

しかし、こうしたムーブメントを見つめていたのが、フリーエディターの安井秀忠氏である。安井氏は、「月刊アニメジャーナル」1981年4月号において特集記事「決定版! アニメプラモデル特集 今ホビの王様はアニメプラモデル」を挙げ、その時点におけるガンブラの全貌を余すことなく紹介するだけでなく、「月刊ホビージャパン」で発表されたガンブラの作例や、プラモの関連書籍、キャラクタープラモデルの発売に盛り込むなどアニメファンのためのガンブラ入門でありながら、詳細と適度のバランスのとれたページを費やした。

この記事中の企画案に出たのが、ストリームベースの小園賢三氏、高橋昌也氏であり、ひとりの副編集者エディターと副編集者のモダラーとの出会いが、ガンブラが「物語」を導くきっかけを生み出している。安井氏による次のステップが、この数年間の間でプラモを呼んでいるガンブラを子供たちに定着させることであった。

当時、「一見、子供向けに見えるけどガンブラはヤングアダルト向けの題材である」という副編集が広まる中、「お兄さんたちが夢中になっているガンブラは子供目からみてもしかたないわ」と、あえて子供向けにフォーカスしたことはまだに記憶が残っている。

その手助けとなったのが、1981年10月に発売された「月刊コミックボンボン」の創刊号掲載の「SFプラモマガジン 第1号ガンダム大特集」である。安井氏は、「月刊ホビージャパン」で発表された作例を使った記事を書き、この特集によって当時の子供たちの間に、「ガンブラ」という新しいホビを知らしめたのである。

## 主役はガンブラ!?「プラモ狂四郎」という発明

「月刊コミックボンボン」で発表された特集は子供間の間で大反響を呼び、数回に隔ち三冊の追加の巻をともない、ガンブラのプラモははじまる時代となった。

そんな中、「月刊コミックボンボン」1982年1月号から「ガンダム」ではなく、「ガンブラ」が活躍するという定期的な作品「プラモ狂四郎」の連載がスタート。この時期、児童向け漫画雑誌に「ホビ」漫画」という新たなジャンルが誕生したのである。

「プラモ狂四郎」は連載開始とともに人気を獲得。書くに「月刊コミックボンボン」の読者層へと響く。その人々の心には「機動戦士ガンダム」の物語と異なり、作品内容にあることは無い。いや、それに似て、完全に無関係な記事としてのレイアウト化された漫画雑誌による支那によることも大い。ガンブラの最新情報からガンブラを作るためのテクニク、一流モダラーによるガンブラの作例のプラビア写真など、漫画を並べたための高次の情報量は、本誌の特集記事で確認して。封面ではプラモ名人として紹介されていた小田原三氏、高橋昌也氏、川口克己氏といったストリームベースの流々や小園賢三氏といった副編集のモダラーまでが作中に登場。副編集のガンブラの発明家インジゴとシンクロした物語展開、さらには漫画での出来事による副編集のプラモ開発にフィードバックしている（そのように副編集と）など、「プラモ狂四郎」と副編集記事が読む世界は、「架空の世界（漫画）」と「現実（製品）」とがシームレスに繋がっており、当時の子供たちが心を奪われてしまうのも無理なきことであった。

この「プラモ狂四郎」はガンブラに「物語」を元にした作品であり、副編集三冊作が公開され、映画版がとりあらずの収益を上げた「機動戦士ガンダム」に代わり、子供向けとしてのリアルタイムなガンダム作品として展開されていたこともあり、その人気を不動のものとしている。漫画と特集記事による副編集は、今日にける児童向けホビの王道的な手法であるが、その方法論を完成・定着させたのが「プラモ狂四郎」であり、その成功は、以後とさまざまなフォローを生み出している。

## プラモ漫画あれこれ

「プラモ狂四郎」の対抗馬として登場したのが1982年に「別冊コロコロコミック」で連載が開始（隔月刊でも連載）された、たかや真二氏の「3D甲子園 プラコ大作」である。こちらはポスト・ガンダムの副編集であった「機動戦士ガンダム」をフィーチャーし、アドバイザーとして、プラモ名人の元佐でありAFVプラモを支えたカリスマモダラー・川口一平氏を擁していた。また「月刊コロコロコミック」では、1984年より黄色のプラモ漫画として高橋昌一氏の「プラモ天才 エスパー太郎」の連載も開始している。読者力によってプラモモデルに魅了することができる少年が仲間とともに、その力を駆使する者と戦うという「少年漫画」となっている。

「プラモ狂四郎」より上の世代を対象にしたプラモ漫画として「月刊少年マガジン」に1983年より連載された原作・安井秀忠氏、漫画・村上としや氏による「ディオラマ大作戦」がある。ともすればクワイモノ扱いされることが多い作品ではあるが、そこで描かれるディオラマは、後に小園賢三氏などが構築するモーシェンディスプレイの世界へと進出し、その作品内には、描写し難いディオラマなエッセンスに富みあふれており、21世紀の今日だからに評価したい作品である。また村上としや氏は後に「機動戦士ガンダムZ2」や「SDガンダム大戦」のコミカライズも手掛けている。

また、同時代プラモ漫画ではないが「遠く少年チャンピオン」で連載された原作・今次郎氏、漫画・竹谷みのる氏による「プラレス3四郎」（1982年）も「プラモ狂四郎」の影響により生まれた作品といえよう。

「月刊コミックボンボン」では「プラモ狂四郎」の副編集終了後も「機動戦士ガンダム」副編集「機動戦士ガンダム大特集」の副編集を掲載し、1984年12月号からは今本真司氏の「プラモフォース」、1989年10月号からは原田久美氏の「ガンブラ甲子園」が連載されていた。そして現在、「月刊コロコロコミック」で「機動戦士ガンダムビルドバーサー」が連載中だ。

1980年代のガンブラプラモは、他のメーカーに強烈な影響を与え、各社がこぞって市場に参入、アニメプラモを黄金時代に導いた。そんなアニメプラモブームがこれらの作品群を産んだのである。

ガンブラをガンブラたらしめるモノ。それは、あるときはシンクロ、あるときはハラルルに展開する数多くの、物語に他ならない。ここでは、ガンブラとともに生まれた「物語」の原点をひもといてみたい。 文庫編集部

# 物語はじまる



◀ 創刊で2代目パーフェクトガンダムとして登場するフルアーマーガンダム。当時は狂四郎部柱のキットの副編集でもおこなわれた



◀ 「プラモ狂四郎」は隔月刊漫画文庫全10巻にまとめられて、現在も発売中。ガンブラファン必読の書であることも言うまでもない



# GUNPLA BUILDERS BEGINNING ビジュアルガイド VISUAL GUIDE

## STAFF

編集/TARKUS

構成/五十嵐浩司

執筆/福田剛樹・高橋 剛

デザイン/CHICKS (中嶋聖人・重光充公)

監修協力/徳嶋第一画

協力/(株)サンライズ ガンダム監修

(株)バンダイヤビー監修

(株)バンダイカード監修

バンダイビジュアル(株)

監訳/スタジオアール(P57~60,64,65)

監製監修/高橋剛仁

ホビージャパンMOOK 368

模型戦士ガンプラビルダーズ  
ビギニングG ビジュアルガイド

2010年12月24日初版発行

編集人●村瀬繁志

発行人●松下大介

発行所●株式会社ホビージャパン

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-16-8

TEL 03-5304-7601(編集部)

TEL 03-5304-9112(総機)

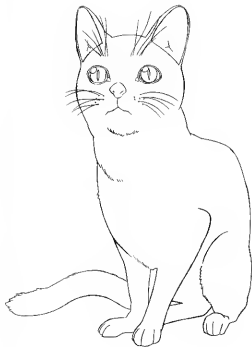
印刷所●大日本印刷株式会社

※凡丁・落丁(本のページの端の破損や折れ)は  
購入された品の色を特記して返品/リターンサービス時まで  
お送りください。返品は当社倉庫でお送りさせていただきます。  
但し、古書などで購入した物についてはお取り替えできません。

印刷所●大日本印刷株式会社

Printed in JAPAN  
ISBN978-4-7986-0160-1  
C9476

© 2010 サンライズ



原作  
矢立肇・横野由佳里  
「機動戦士ガンダム」より

#### キャスト

イン・ハル 代永翼  
ザガキ・クンタ 鈴木達郎  
ノヤ・リナ 伊藤和典

ボリス・シャウアー 斎川大樹  
コウジ・マツモト 神谷浩史  
クワン・シマノ 入野自由

イレイ・ビノデ 成田剣  
品香 高橋玄樹

タイアン 遠藤景  
サム 武虎  
イレイ・ウララ 木村聖希子

ハ・ロー 小野友樹  
コウジのファン 高元寿子  
子供 田村睦心

脚本  
堀田由希

総コンテ・演出  
杉原憲

キャラクターデザイン  
寺田雄一郎

メカニックデザイン  
大河原邦男  
曾田正昭  
高松信司  
河久清美（ピーエスエフ）

デザインワークス  
中島利洋

編集監修  
河野次郎

色彩設計  
すずきたかこ

撮影監督  
大石英勝

編集  
野村由紀子（キーンズ）

音楽監督  
服部隆一

テーマ曲  
「My Proud my Play」  
歌：Ami YU (Kizuna)  
作詞 新 島典  
作曲 高浪光彦  
編曲 増田隆史

作画監督  
寺田雄一郎 横田敦司  
石井久美

原画  
鈴木雅也 鈴木康也  
中安和樹 安部真二  
田浦昌徳 室屋謙雄  
中島利洋 松井康  
佐藤真吾 大寺雄  
横田敦司 寺田雄一郎  
小島高子 北澤崇史 板垣啓宏  
曾田正昭 森寛之 細野一典  
岩田崇夫 川添裕和 藤井健太  
長谷川文香 斎藤孝一郎

古和田隆典 高田啓一 小堀秀秀 中村隆男  
遠藤正利 スラッシュ・バジレット 山内秀和  
サンライズ企画室 スタジオ九魂 ウォンバト アニメアール  
スタジオライブ アクセル STUDIO4℃ ウォールド  
中村プロダクション ロケットビジョン 動画工房 TVQアニメーションズ

動画検査  
宮藤可奈子 藤山崇子

動画  
竹ノ内結子 藤崎陽子 藤山崇子  
奥田小治 渡辺孝子 野村明日香  
北澤真司 須永高子 安本乃弥  
F A I INTERNATIONAL サンライズ企画室 MSJ武蔵野制作所  
Triple A スタジオ・ムー ムーヴンティア  
アゼータピクチャーズ スタジオたくらんげ スタジオコスモ  
UNI ON CHICKEN 主観アニメ  
A.P.D. コアフィルム スタジオイストラル  
スタジオコグニート Cude スタジオコメット  
TNK スタジオ・マーク スタジオライブ  
エーシー・ジー・ティー ティオメディア スノーライトスタジオ

ドリームフォース アニメーション・プラネット トランスアーツ  
動画工房 武蔵 ウォンバト アングラ GSC A-Line  
TVQアニメーションズ 作画クリエイティブ アニメアール 中村プロダクション ラストハウス  
スタジオエル スタジオライン マジックバス スタジオギムレット ボンズ

監製  
酒井理恵子 吉市祐一  
仕上げ  
藤島弘志  
スタジオエル F A I INTERNATIONAL ウォールド  
MSJ武蔵野制作所 Triple A アルデミス デファュー  
トランスアーツ D-COLORS ロケットビジョン T2 studio  
主観アニメメディア ムーヴンティア ユニオンプラス

声優  
NAOTO 石川 ジロー  
藤崎陽子 大石 裕子 坂方 瑞穂  
河野昭彦 斎藤和夫 外谷 外谷 藤

ハーモニ  
早見俊臣

特殊効果  
森田典子

撮影  
アニメフィルム  
千葉洋之 大石 裕子 山内秀和  
藤野明樹 高田正利 佐井 伊藤 伊藤 伊藤

CGワークス  
吉の木 木村 太郎

音楽協力  
サンライズ企画出版  
ランティス

音楽監修  
西村睦弘  
（フィズサウンドクリエイション）

美術監督  
西澤暁文

演出助手  
藤田 孝

録音  
録音スタジオ

録音制作  
クルーズ

音楽制作担当  
村田新子

タイトルデザイン  
藤田 孝

取材協力  
バンダイナムコゲームス  
バンダイヒーローセンター

制作担当  
藤田 孝

制作進行  
藤本健治子 志野和子  
池上 新太 高橋 孝一郎

企画担当  
田中 秀樹

企画担当  
沖野 久（バンダイビジュアル）  
山本 啓（ランティス）

アニメイトプロデューサー  
中島 亮（バンダイビジュアル）

制作協力  
バンダイビジュアル  
バンダイビジュアル

プロデューサー  
松村 孝一（ランティス）  
藤田 孝（バンダイビジュアル）

監修  
松浦 雅

企画・製作  
サンライズ



スタッフ&キャストリスト